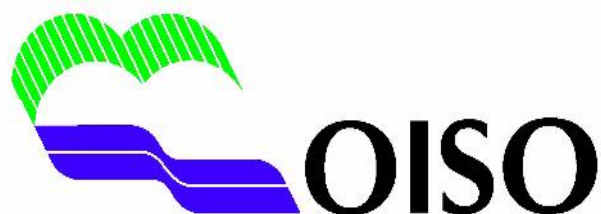


平 成 2 7 年 版

消 防 年 報



大 磯 町 消 防 本 部

ま え が き

この消防年報は、大磯町の消防現勢と平成27年中の消防業務の実態等について紹介するものです。

統計資料は主として平成28年4月1日現在で記載していますが、火災・救急・気象・その他一部の統計資料につきましては、暦年によって記載しました。

本書が、本町消防行政について、ご理解をいただくために少しでもお役にたてれば幸いです。

平成28年 9 月

大磯町消防本部

災害動向（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

●火災発生状況

火災発生件数は9件で、前年と同じ件数です。火災の種別では、「建物火災」4件、「その他の火災」5件となっており、「建物火災」は4件減少しています。建物の焼損面積は17.0㎡で、前年より43.0㎡の減少となっています。出火原因は「失火」3件、「放火」によるものが5件、「その他」1件となっています。なお、火災により亡くなられた方はおりませんでした。

●救急通報（119番着信）

119番の着信件数は3,664件（うち1,280件は「訓練及び試験」）で、前年より464件の増加となっています。通報の内訳は、「救急」1,220件、「火災」は6件でした。「問い合わせ」は212件、「間違い」や「いたずら」は98件でした。

●気象状況

年間の降雨量は1451.5mmで、前年に比べ64.0mmの増加となっています。1ヶ月の降雨量が200mmを越えた月は7月と9月で、そのうち7月の降雨量は309mmでした。

気象警報の発表状況は、「大雨警報」6件（前年より1件増加）、「洪水警報」4件（前年より1件減少）、「波浪警報」4件（前年より2件減少）、「暴風警報」1件（前年より1件減少）となっています。

●救急活動

救急活動の出場件数は1,572件で、前年に比べ27件の減少となっております。搬送人員は1,504人で34人の減少となり、事故種別では、「急病」1,019件、「一般負傷」264件、「交通事故」125件、それ以外の出動件数は164件でした。

年齢別では、65歳以上の高齢者の搬送人員が938人（62.4%）と最も多く、前年より13人の減少となっています。また、傷病の程度では、軽症者の搬送人員は690人（45.9%）で前年より30人の減少となり、中等症は683人（45.4%）で37人の増加となっており、中等症者の搬送人員が増えている状況です。

●救助活動

救助活動の出場件数は19件で、前年と比べ8件の増加となっています。事故種別では、「交通事故」6件、「建物等による事故」6件、「水難事故」3件、それ以外の事故件数は4件となっており、救助人員は17人で前年に比べ8人の増加でした。

●救急支援活動

救急支援活動の出場件数は224件で、前年と比べ15件の減少となっています。支援種別では、「救急隊の活動を円滑に行なうための出動等」が最も多く139件で、以下「交通事故」、「搬出困難」、「ヘリポート確認」の順となっています。

大磯町町民憲章

わたくしたちは、高麗、鷹取の山なみや、こゆるぎの浜に象徴される美しい自然と由緒ある歴史、文化に恵まれた大磯の地を愛し、誇りとし、さらに住みよいまちづくりを目ざして、ここに町民憲章を定めます。

- 1 恵まれた自然と伝統を守り、文化の向上に努め、豊かなまちにしましょう。
- 1 公德心と心のふれあいをたかめ、世界に誇れる美しいまちにしましょう。
- 1 心とからだをきたえ、健康で働くことを喜びあえる明るいまちにしましょう。

(昭和56年1月1日制定)

● 町の鳥

「かもめ」は、昭和59年12月に町のイメージにふさわしい鳥として制定されました。

「アオバト」は平成22年11月に町の鳥として新たに制定されました。群をなして照ヶ崎海岸の岩礁に海水を求め飛来しています。



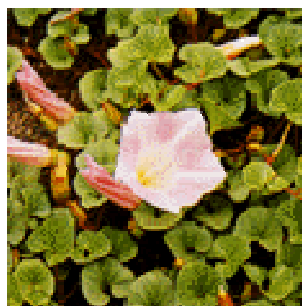
△かもめ



△アオバト

● 町の花

「はまひるがお」は、平成10年2月に大磯町のなぎさのイメージにふさわしい花として制定されました。径4～5センチの薄紅色の花は、漏斗状^{ろうとじょう}で筒が太く、海岸の砂浜に生える、つる性の多年草です。



△はまひるがお

● 町の木

豊かな自然に恵まれた大磯にもっともふさわしい町の木は、昭和50年4月に町民の公募で決定され、高い木ではまつ科の「くろまつ」、低い木ではつばき科の「さざんか」が選ばれました。



△くろまつ



△さざんか

凡 例

- 1 本書は、大磯町の消防現勢と平成27年中の消防活動のあらましを収録し
ものです。
- 2 各表の年次については、右上欄外に明記してありますが、記載のないも
のは平成27年中の数値です。
- 3 数字の単位未満は、四捨五入を原則としました。そのため、合计数と内
訳が一致しない場合があります。
- 4 統計表中の符号の用法は次のとおりです。
「0」……単位未満
「…」……不 詳

※ 欄内が空白の部分は、皆無または該当数字なしとなっています。

— 目 次 —

大磯町の地勢	1
面積・人口・世帯数	2

[消 防 の 概 要]

大磯町消防のあゆみ	3~9
歴代消防長・消防団長	10
消防庁舎の現況	11
消防機構図	12
消防本部・署事務分掌	13, 14
消防本部・署の現勢	15
常備消防力の基準と現有消防力の比較	16
消防配置図	17
消防本部・署現有車両機械状況	18
機械器具等	19
消防水利状況	20
町内消火栓管区図	21

[総 務]

主要行事	22
消防予算額	23
町総予算（一般会計）と消防予算との比較	23
消防費と世帯・人口比	23
消防職員定員・実員・年齢	24

[火 災 ・ 通 信 ・ 気 象]

月別火災発生状況	25
原因別火災状況	26
地区別出火状況	27
専用電話(119番)月別着信状況	28
現有無線局状況	29
気象状況・気温と湿度	30
気象通報受信状況	31

[救 急 ・ 救 助]

救急活動状況	32
地区別救急出場件数	33
時間別救急出場件数	34
曜日別救急出場件数	34
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	35
収容病院別搬送人員	36

— 次 —

事故種別応急処置回数	37
月別救急支援活動件数	38
月別救助活動件数	39

[予 防]

防火対象物状況	40
防火管理者届出及び消防計画届出状況	41
火災予防関係届出状況	42
建築物消防同意状況	43
用途地域別建築物消防同意	44
中高層建築物状況	45
危険物関係届出状況	46
危険物施設状況	47
指定数量別危険物製造所等の状況	48
地区別危険物施設及び貯蔵・取扱数量	49

[消 防 団]

消防団の現勢	50
消防団の現況	50
消防団分団別受持区域図	51
消防団分団別受持区域表	52
各分団所在地	53
消防団員階級別年齢	54
職業別消防団員数	55
消防団員在職年数	55
消防団員報酬額	55
消防団員費用弁償額	55
消防団現有車両機械状況	56

[その他 統計]

防災訓練実施状況	57
各講習会実施状況	57
普通救命講習会実施状況	58
参考資料	59

大磯町の地勢

大磯町は、神奈川県中央南部（東経 139° 18'，北緯 35° 18'）に位置しています。南は相模湾、北は高麗山や鷹取山をはじめとした大磯地塊の丘陵地帯で、北と東は平塚市、西は二宮町と境を接しています。東西約 7.6 km、南北約 4.1km のやや東西に長い形をしており、面積は 17.23 k m²で、市街地は国道 1 号沿いの平坦部に形成されています。まちの 65%を丘陵部が占め、気候は海岸沿いに流れる暖流の影響で温暖です。

※ 緯度、経度は大磯町役場の位置



人口・世帯数

(平成28年4月1日現在)

自治会名	世帯数	人口		
		総数	男	女
高麗	地区別人口と世帯数については、平成27年国勢調査集計中のため未掲載。			
東町				
長者町				
山王町				
神明町				
北本町				
北下町				
南本町				
南下町				
茶屋町				
裡道				
台町				
西小磯東				
西小磯西				
国府新宿				
中丸				
馬場				
月京				
生沢				
寺坂				
虫窪				
黒岩				
西久保				
石神台				
町内全地区合計	12,274	31,497	15,377	16,120
参考	大磯町総面積 17.232km ²	1km ² あたりの		
		世帯数	人口(人)	
		712	1,828	

※ 出典：平成27年国勢調査速報値を基準人口とした推計人口

消防の概要

大磯町消防のあゆみ

明 6 . 8	町内から発生した火災で、尾上本陣内に設けられていた小学校が焼失。
明22. 3	壮年者(後の若者組、青年会の前身)による町内単位の自衛消防組が組織され鳶掛、竜吐水掛、水掛、梯掛の四部に分かれ、村長、警察官、議員の指揮に従った。
明22. 3	町村制が施行され、大磯町・国府村が誕生。
明23. 8	南下町から出火し、折からの烈風にあおられ町の大半を焼失。中川町長は住宅の過密化緩和のため長者町への移住を推進した。
明27. 5 . 1	消防組令の公布。
明31.10.13	台町の火災により妙昌寺焼失。
明35.12.25	町内の旅館から出火、町の大半を焼失。
明43.12.28	農家から出火、中丸の大半を焼失。飛火は西小磯金龍寺に及び焼失。
大12. 9 . 1	関東大震災発生。
昭14. 4 . 1	警防団令の公布。
昭20. 7 . 16	平塚市空襲の際、大磯町・国府村寺坂に焼夷弾の落下を受け民家約40戸を焼失。
昭22. 5 . 1	消防団令の公布により自治体消防として発足。
昭29.12. 1	町村合併促進法に基づき大磯町、国府町の合併により大磯町が発足。(面積17.19km ² 、人口21,595人)
昭30. 6 . 1	大磯町消防団結団式を挙行、2本部10分団487名。
昭31. 9 . 1	小型動力ポンプ1台購入、第1分団に配置。
昭32. 7 . 24	小型動力ポンプ2台購入、第3分団及び第5分団に配置。
昭33. 8 . 28	小型動力ポンプ2台購入、第2分団及び第10分団に配置。
昭34. 4 . 1	消防の充実を図るため団員数を縮小し、1分団25名とした。
昭34. 8	第9回県消防操法大会に、第1分団が小型動力ポンプの部に出場。
昭34.10.18	第6分団に三輪ポンプ車を配置。
昭34.12.22	小型動力ポンプ3台購入、第4分団、第7分団、第8分団に配置。
昭35.11.26	消防ポンプ自動車(いすゞ)購入、消防団第1本部に配置。
昭37. 7 . 1	大磯町火災予防条例を制定。
昭37.12.25	消防ポンプ自動車(ニッサンパトロール)購入、消防団第2本部に配置。
昭38. 2 . 11	日本消防協会から団旗竿頭 かんとうじゅ 綬を拝受。
昭38. 4 . 1	消防の充実を図るため1分団20名とした。
昭38. 6 . 5	消防団本部火の見上に、火災報知用サイレンを設置。
昭38.11. 8	大磯町防災会議条例及び大磯町災害対策本部条例を制定。
昭39. 7 . 1	大磯町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例を制定。
昭39. 8	第14回県消防操法大会に、消防団第2本部が自動車ポンプの部に出場。
昭39.11.21	小型動力ポンプ1台購入、第9分団に配置。
昭40. 3 . 11	大磯町課等設置条例の一部を改正。従来の総務課庶務係(消防)に代わり4月1日をもって消防課を設置。
昭40. 4 . 1	消防の充実を図るため1分団15名とした。
昭40. 4 . 2	消防課職員2名、県消防学校へ入校。
昭40. 6 . 16	神奈川県から救急車(プリウス 1,900cc)受贈、消防課に配置。役場庁舎前に消防庁舎(1階車庫、2階事務室、仮眠室103.95m ²)を建設。
昭40. 8 . 5	救急業務開始。消防課職員10名。
昭40.10. 7	第15回県消防操法大会に、第2分団が小型動力ポンプの部に出場。
昭41. 3 . 5	消防課に無線(短波)を開局。
昭41. 4 . 1	消防課職員4名増員。

昭41. 8. 18 大磯町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例を制定。

昭41. 9. 26 大磯町消防団員等公務災害補償条例を制定。

昭42. 4. 1 消防課職員 4 名増員。

昭42. 5. 12 政令により消防本部、署設置の指定を受ける。

昭42.10. 1 常設消防設置準備室設置。県消防学校教官、秋本芳男氏の派遣を受け、1 年間消防本部、署の創設業務と職員の教養指導を受けた。

昭42.10. 9 県消防協会から広報車(三菱コルト 1,500cc)受贈、消防課に配置。

昭42.11. 9 消防ポンプ自動車 (ニッサンFR40) 購入、消防課に配置。

昭42.12.27 消防ポンプ自動車 (ニッサンFR40) 購入、消防団第 2 本部(現在の第12分団)に配置。

昭43. 1. 11 前第 2 本部車を第 5 分団に積載車として配置。

昭43. 3. 18 大磯町消防本部及び消防署の設置等に関する条例及び大磯町消防償慰金条例制定。

昭43. 4. 1 大磯町消防本部、消防署設置。消防職員23名。

昭43. 6. 1 消防本部、署職員 1 名採用。

昭43. 9. 20 軽消防積載車購入、小型動力ポンプとともに消防署に配置。

昭43.10. 7 第18回県消防操法大会に、消防団第 1 本部が自動車ポンプの部に出場。消防署も応用操法の部に出場、模範演技を披露。

昭44.10.31 救急自動車購入、消防署に配置。

昭45. 1. 16 消防庁、日本自動車工業会から救急自動車受贈、消防署に配置。

昭45. 4. 1 消防団組織改組。第 1 本部を第11分団に、第 2 本部を第12分団とし、本部長副本部長制を廃止、副団長 3 名を選出。

昭45.11.17 積載車 (ニッサンジュニア 1,600cc) 購入、第 2 分団に配置。

昭46. 2. 24 消防ポンプ自動車 (ニッサンパトロール 3,956cc)購入、第 6 分団に配置。

昭46. 8. 21 第21回県消防操法大会に、第12分団が自動車ポンプの部に出場。

昭46.11. 7 消防署に化学車 (いすゞ TXD50E)配置。

昭46.11.17 積載車(ニッサンジュニア 1,600cc) 2 台購入、第 4 分団、第 7 分団に配置。

昭47. 1. 1 消防本部、署職員 1 名採用。

昭47. 4. 1 消防本部、署職員 1 名採用。

昭47.10. 5 消防ポンプ自動車 (ニッサンパトロール 3,956cc)購入、第 1 分団に配置。

昭47.11. 9 積載車(ニッサンジュニア 1,600cc) 3 台購入、第 8 分団、第 9 分団、第10分団に配置。

昭47.11.11 消防本部、署職員 1 名採用。

昭48. 4. 1 大磯町危険物安全協会発足。

昭48. 8. 13 第23回県消防操法大会に第 4 分団が小型動力ポンプの部に出場。消防署も応用操法の部に出場、模範演技を披露。

昭48. 9. 20 小型動力ポンプ購入、第 2 分団に配置。

昭48.10.27 消防庁舎起工式。(大磯1,075番地)

昭48.11.20 積載車 (ニッサンジュニア 1,600cc)購入、第 3 分団に配置。

昭48.11.28 消防ポンプ自動車 (ニッサンパトロール 3,956cc)購入、第 5 分団に配置。

昭49. 3. 31 一斉指令装置設置。

昭49. 8. 5 消防庁舎竣工。大磯992番地の旧庁舎から大磯1,075番地の新消防庁舎 [鉄筋コンクリート造り 3 階建 (1,384.96㎡)]に移転し業務開始。

昭49. 8. 9 地震対策用ろ水機購入。

昭49.10.17 小型動力ポンプ 2 台購入、第 3 分団、第10分団に配置。

昭50. 3. 4 消防庁長官から竿頭かんとうじゅ綬を拝受。

昭50. 4. 1 消防本部、署職員 1 名採用。

昭50. 5. 1 消防署高圧ガス危害予防規程制定。

昭50. 5. 15 広報車 (ニッサンブルーバード 1,600cc)購入、消防署に配置。

昭50. 6. 5 一般高圧ガス、圧縮空気製造施設設置。

昭50. 7. 25 神奈川県下消防相互応援協定書に調印。

昭50. 8. 11 第25回県消防操法大会、第3分団が小型動力ポンプの部に出場。消防署も応用操法の部に出場、模範演技を披露。

昭50. 8. 18 小型動力ポンプ2台購入、第7分団、第8分団に配置。

昭50.12.10 消防ポンプ自動車（ニッサンパトロール 3,956cc）購入、消防署に配置。

昭51.11.26 小型動力ポンプ2台購入、第4分団、第9分団に配置。

昭51.11.29 超短波無線（移動局）3基購入。

昭52. 4. 1 消防本部、署職員1名採用。

昭52. 8. 8 第27回県消防操法大会に、第5分団が自動車ポンプの部に出場。

昭52.10. 8 定数条例の改正。消防職員28名。

昭52.11.14 日本損害保険協会から救急自動車受贈、消防署に配置。

昭53. 4. 1 消防本部、署職員3名採用。

昭54. 4. 1 テレオートガイド装置設置、防災（スポット）テレホンサービス開始。

昭54. 6. 26 旧吉田首相私邸で日米首脳会談が開催され警備にあたる。

昭54. 8. 10 第29回県消防操法大会に、第6分団が自動車ポンプの部に出場。

昭54.10. 1 定数条例の改正、消防職員30人。消防本部、署の組織の一部改正により本部では従来の庶務、予防、警備の3係に加えて企画係を新設。署では従来の当直隊の呼称を甲隊、乙隊から警防第1係、警防第2係に改正。

昭54.10.19 台風20号の影響で町内各所に被害が続出し、町役場に災害対策本部を設置。

昭55. 3. 26 消防ポンプ自動車（ニッサンパトロール 3,950cc）購入、第11分団に配置。

昭55. 4. 1 消防本部、署職員2名採用。

昭55. 7. 9 軽指令車（三菱 540cc）購入、消防署に配置。

昭55. 8. 12 小型動力ポンプ3台購入、第5分団、第11分団、第12分団に配置。

昭55.10.13 第1回消防団員家族慰安旅行（山梨県）を実施。

昭55.10.16 第12分団詰所新築。

昭56. 4. 1 消防本部、署職員1名採用。

昭56. 7. 22 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車受贈、消防署に配置。

昭56. 8. 7 第31回県消防操法大会に、第7分団が小型動力ポンプの部に出場。

昭56.12. 8 小型動力ポンプ3台購入、消防署、第1分団、第6分団に配置。

昭57. 1. 29 救急自動車（トヨタ 1,960cc）購入、消防署に配置。

昭57. 3. 31 大磯町消防職員の任用に関する規定を廃止。

昭57. 8. 6 日本消防協会から広報車（三菱ギャラン 1,600cc）受贈、消防署に配置。

昭57.12. 8 小型動力ポンプ購入、消防署に配置。

昭58. 3. 1 消防本部、署職員1名採用。

昭58. 3. 2 消防庁長官から表彰旗を拝受。

昭58. 3.15 水槽付消防ポンプ自動車（日野KFD 6,443cc）購入、消防署に配置。

昭58. 3.25 第11分団詰所新築。（町立図書館に併設）

昭58. 5.26 国府地区（二宮局）の119番が大磯町と二宮町で同時に受信できるマルチ方式となった。

昭58. 8. 3 第33回県消防操法大会に、第8分団が小型動力ポンプの部に出場。

昭58. 8.19 日本消防協会から軽可搬ポンプ4台受贈、北下町、東町、神明町、月京の婦人防火クラブに配置。

昭58.12. 3 消防ポンプ自動車（ニッサンパトロール 3,950cc）購入、第12分団に配置。

昭58.12.18 第1分団詰所新築。

昭59. 6.25 指令車（ニッサンセドリック 2,000cc）購入、消防署に配置。

昭59. 8. 8 日本消防協会から緊急用ろ水機受贈、消防署に配置。

昭59.12. 2 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,600cc）購入、第2分団に配置。

昭60. 1. 1 消防署安全管理規程及び訓練時安全管理要綱制定。

昭60.3.20 第10分団詰所新築。

昭60.4.1 消防本部、署職員2名採用。

昭60.6.5 大磯町消防通信規程及び大磯町消防超短波無線局運用規程制定。

昭60.9.30 小型動力ポンプ購入、消防署に配置。

昭60.10.30 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,600cc）2台購入、第4分団、第7分団に配置。

昭60.11.28 第7分団詰所新築。

昭61.2.2 一斉指令装置更新。

昭61.3.4 日本損害保険協会から救急自動車（トヨタ 1,990cc）受贈、消防署に配置。大磯ロータリークラブから救急資器材受贈。

昭61.8.1 第35回県消防操法大会に第9分団が小型動力ポンプの部に出場。

昭61.10.29 超短波無線（移動局）1基更新。

昭61.11.7 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,600cc）2台購入、第9分団、第10分団に配置。

昭61.12.10 消防ポンプ自動車（三菱キャンター 3,560cc）購入、消防署に配置。

昭61.12.25 第9分団詰所新築。

昭62.4.1 消防本部、署職員1名採用。

昭62.8.25 防災資機材運搬車（ホンダTNアクティ 545cc）購入、消防署に配置。

昭62.9.1 超短波無線（移動局）1基更新。

昭62.10.1 大磯町非常勤消防団員等公務災害補償規定廃止。大磯町消防団員等に係る公務災害補償のうち休業補償を行わない場合を定める規則を制定。

昭62.10.20 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,600cc）2台購入、第3分団、第8分団に配置。

昭62.11.1 大磯町消防通信規程、大磯町消防超短波無線局運用規程廃止。新たに大磯町消防無線局管理運用規程を制定。

昭63.2.17 119番（大磯局）1回線増設。

昭63.2.23 超短波無線（救急波）1基整備。

昭63.3.26 第8分団詰所新築。

昭63.9.19 超短波無線（移動局）1基購入。

昭63.10.1 定数条例の改正、消防職員35名。

昭63.11.22 15mはしご付消防ポンプ自動車（いすゞR-FRR12DAL改良型 6,494cc）購入、消防署に配置。

平元.1.25 消防ポンプ自動車（ニッサンサファリー 4,160cc）購入、第6分団に配置。

平元.4.1 消防本部、署職員2名採用。消防署の組織に関する規程の一部を改正、救助第1係、救助第2係を設置。

平元.7.7 第14回県下消防救助技術指導会に初出場。

平元.9.29 消防ポンプ自動車（ニッサンサファリー 4,160cc）購入、第1分団に配置。

平元.11.18 救急自動車（トヨタ 1,990cc）購入、消防署に配置。

平2.2.14 日本消防協会から^{かんとうじゅ}竿頭綬を拝受。

平2.4.1 消防本部、署職員2名採用。

平2.7.26 第37回県消防操法大会に第10分団が小型動力ポンプの部に出場。

平2.9.28 消防広報車（トヨタライトエースワゴン 1,990cc）購入、消防署に配置。

平2.9.30 台風20号の影響で町内各所、特に西部地区に被害が続出し、町役場に災害対策本部を設置。

平2.11.8 消防ポンプ自動車（ニッサンサファリー 4,160cc）購入、第5分団に配置。

平3.2.26 地図検索装置設置。

平3.4.1 消防本部、署職員2名採用。

平3.6.28 消防団車載用携帯受令機12基購入。

平3.8.20 消防庁舎耐震診断終了。

平3.9.19 台風18号の影響で町内各所、特に西部地区に被害が続出。

平4.2.25 救助工作車（日野U-FD3HEAA改良型 7,412cc）購入、消防署に配置。

- 平4.2.28 超短波無線(移動局)1基購入。
- 平4.3.20 第5分団詰所新築。
- 平4.3.25 第4分団詰所(西小磯防災館併設)新築。
- 平4.3.31 第6分団詰所(国府新宿福祉館併設)新築。
- 平4.4.1 消防本部、署の組織の一部改正。本部に庶務課、警防課を設置し、署に通信第1係、通信第2係を設置。
- 平4.7.24 日本消防協会から軽可搬ポンプ1台受贈。
- 平4.9.1 第1回消防団親睦綱引き大会実施。
- 平4.9.26 定数条例の改正、消防職員40名。
- 平5.4.1 消防本部、署職員2名採用。
- 平5.9.6 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車(日産U-CM87EE改良型 6,925cc)受贈、消防署に配置。
- 平5.12.31 消防庁舎耐震工事完成。
- 平6.2.23 第2分団詰所新築。
- 平6.4.1 消防本部、署職員2名採用。
- 平6.7.22 第23回消防救助技術関東地区指導会(埼玉県大宮市)に陸上の部(ほふく救出)で初出場。
- 平6.7.28 第39回県消防操法大会に第11分団が自動車ポンプの部に出場。
- 平6.8.25 第23回全国消防救助技術大会(京都市)に陸上の部(ほふく救出)で初出場。
- 平6.10.4 救急救命士1名養成。
- 平7.1.19 兵庫県南部地震の救助救援活動のため、職員を6日間、延べ4名を派遣。
- 平7.2.16 消防ポンプ自動車(ニッサンサファリー 4,160cc)購入、第11分団に配置。
- 平7.3.15 第3分団詰所新築。
- 平7.4.1 消防本部、署職員2名採用。
- 平7.6.7 定数条例の改正、消防職員45名。
- 平7.7.26 神奈川県・大磯町合同津波対策訓練実施。
- 平7.10.17 第12分団詰所新築。
- 平7.10.30 緊急消防援助隊に消火部隊として1隊を消防庁に登録。県外応援可能隊として組織。
- 平7.11.6 長野県小諸市と姉妹都市災害時相互支援協定を締結。
- 平8.2.29 高規格救急自動車(トヨタハイエース 3,960cc)購入、本署に配置。
- 平8.3.28 消防ポンプ自動車(いすゞエルフ 4,570cc)購入、国府分署に配置。
- 平8.4.1 大磯町消防署国府分署(国府支所に併設)開署、職員11名を配置。消防本部、署職員2名採用。
- 平8.4.1 大型街頭消火器設置、維持管理業務が町防災対策担当から移管される。
- 平8.4.1 大磯町消防団災害安全対策交付金要綱制定。
- 平8.4.25 救急救命士1名養成。
- 平8.8.21 湘南地区災害時職員相互派遣に関する協定を締結。
- 平8.10.1 大磯町消防本部消防職員委員会発足。同委員会に関する規則を制定。
- 平8.11.17 平塚市、大磯町、二宮町の災害時相互協力に関する協定を締結。
- 平8.11.28 消防団に専用無線を配備。
- 平9.2.11 重油回収作業に福井県三国町へ職員を派遣。
- 平9.3.25 救急救命士1名養成。
- 平9.3.26 神奈川県消防協会から^{かんとうじゅ}竿頭綬を拝受。
- 平9.3.26 防災資機材運搬車(ホンダアクティトラック4WD 656cc)購入、国府分署に配置。
- 平9.4.1 消防本部、署職員2名採用。実員44名。
- 平9.5.24 北海道江差町と災害時相互応援協定を締結。
- 平9.12.8 救急救命士1名養成。
- 平10.3.18 日本消防協会から指令車(ニッサンブルーバード 1,800cc)受贈、消防署に配置。

平10. 7. 29 第41回県消防操法大会に第12分団が自動車ポンプの部に出場。

平10.11. 18 長野県山口村と災害時相互支援協定を締結。

平10.10. 28 救急自動車（ニッサンキャラバン 2,960cc）購入、国府分署に配置。

平11. 8. 19 山北町玄倉川の救助救援活動のため、職員を2日間、延べ15名を派遣。

平11.10. 1 消防本部、署の組織の一部改正、本部の庶務係、企画係を消防総務課総務企画班に、予防係を予防保安班に改正。署の当直隊警防第1係、警防第2係を第1消防隊、第2消防隊に改正。

平12. 7. 14 第29消防救助技術関東地区指導会（埼玉県戸田市）に陸上の部（ほふく救出）で出場。

平12. 8. 18 第29回全国消防救助技術大会（熊本県）に陸上の部（ほふく救出）で出場。

平12.12. 4 救急救命士1名養成。

平13. 3. 16 消防ポンプ自動車（いすゞエルフ4,570cc）購入、本署に配置。

平13. 4. 1 消防本部、署職員1名採用。実員42名。

平13. 7. 6 第30回消防救助技術関東地区指導会（東京都江東区）に陸上の部（ほふく救出）で出場。

平13. 8. 24 防災資機材運搬車（ホンダアクティトラック 656cc）購入、消防署に配置。

平13.10. 16 小型動力ポンプ購入、消防署に配置。

平14. 2. 8 日本消防協会から表彰旗を拝受。

平14. 3. 29 消防庁、日本自動車工業会から高規格救急自動車（トヨタハイメディック 3,378cc）を受贈し、国府分署に配置。

平14. 4. 1 消防本部、署職員2名採用。実員44名。

平14. 4. 1 大磯町女性防火クラブ設立、定員16名。

平14. 5. 8 救急救命士1名養成。

平14. 7. 19 第31回消防救助技術関東地区指導会（千葉県千葉市）に陸上の部（ほふく救出）で出場。

平14. 7. 24 第43回県消防操法大会に第1分団が自動車ポンプの部に出場。（優良賞）

平15. 1. 17 救急救命士1名養成。

平15. 4. 1 消防本部、署職員2名採用（うち1名救急救命士）。実員44名。

平15. 5. 14 救急救命士1名養成。

平15.11. 19 救急救命士1名養成。

平16.12. 17 救急救命士1名養成。

平17. 4. 1 消防本部、署職員2名採用。実員42名。

平17. 7. 26 第34回消防救助技術関東地区指導会（埼玉県さいたま市）に陸上の部（ほふく救出）で出場。

平18. 7. 20 第35回消防救助技術関東地区指導会（神奈川県横浜市）に水上の部（基本泳法）で出場。

平18. 7. 26 第45回県消防操法大会に第2・3分団合同で小型ポンプ操法の部に出場。（優良賞）

平19. 3. 27 救助工作車（日野レンジャー 6,403cc）更新、本署に配置。

平19. 4. 1 消防本部、署職員4名採用（うち1名救急救命士）。

平19.11. 21 高規格救急自動車（トヨタハイメディック 2,693cc）更新、本署に配置。

平20. 4. 1 消防本部、署職員4名採用（うち1名救急救命士）実員43名。

平20. 7. 20 第37回消防救助技術関東地区指導会（千葉県千葉市）に水上の部（基本泳法・複合検索）で出場。

平20.10. 10 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）購入、第12分団に配置。

平21. 1. 27 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（日野レンジャー 6,403cc）更新、本署に配置。

平21. 4. 1 消防本部、署職員3名採用。実員45名。

平21. 4. 1 消防本部の組織に関する規則の一部改正を行い、第1消防隊、救急救助第1隊を本署第1隊に、第2消防隊、救急救助第2隊を本署第2隊に改めた。

平21. 7. 23 第38回消防救助技術関東地区指導会（神奈川県横浜市）に水上の部（基本泳法・複合検索）で出場。

平21. 9. 28 消防指揮車（ニッサンセレナ 1997cc）購入、本署に配置。

平21.10. 26 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）購入、第2分団に配置。

平22. 1. 13 消防ポンプ自動車（いすゞエルフ 2,999cc）更新、分署に配置。

平22. 1. 28 防災活動車（日産クリッパー 650cc）寄贈、本署に配置。

平22. 3. 1 高規格救急自動車（ニッサンパラメディック 3,498cc）更新、分署に配置。

平22. 3. 19 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）購入、第11分団に配置。

平22. 4. 1 消防本部、署職員1名採用。実員44名。

平22. 4. 22 救急救命士1名養成。

平22. 7. 27 第47回神奈川県消防操法大会に第4分団が小型ポンプ操法の部に出場。

平22.11.17 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）2台購入、第4分団、第7分団に配置。

平23. 3. 14 東北地方太平洋沖地震発生に伴い、緊急消防援助隊神奈川県隊消火部隊第1陣として宮城県に職員6名を5日間派遣。

平23. 3. 19 東北地方太平洋沖地震発生に伴い、緊急消防援助隊神奈川県隊救急部隊第2陣として福島県に職員5名3日間を派遣。

平23. 5. 12 東北地方太平洋沖地震発生に伴い、緊急消防援助隊神奈川県隊救急部隊第3陣として福島県に職員2名を5日間派遣。

平24. 5. 1 消防本部の組織に関する規則の改正を行い、消防総務課企画班を消防総務課消防総務係に、消防総務課予防保安班を消防総務課予防係に改めた。

平24. 5. 29 消防団デジタル簡易無線運用開始。

平24. 7. 6 第41回消防救助技術関東地区指導会（東京都）に水上の部（複合検索）で出場。

平25. 4. 1 消防本部、署職員3名採用。実員44名。

平25. 7. 23 第42回消防救助技術関東地区指導会（神奈川県横浜市）に水上の部（複合検索）で出場。

平25. 8. 22 第42回全国消防救助技術大会（広島県広島市）に水上の部（複合検索）で出場。

平26. 1. 8 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）1台購入、第10分団に配置。

平26. 3. 19 小型動力ポンプ付積載車（いすゞエルフ2,999cc）1台総務省消防庁より無償貸付を受け、第9分団に配置。

平26. 4. 1 消防本部、署職員3名採用。実員44名。

平26. 7. 30 第49回神奈川県消防操法大会に第5分団が小型ポンプ操法の部に出場。

平26. 7. 31 第42回消防救助技術関東地区指導会（千葉県）に水上の部（溺者救助）で出場。

平26.11. 4 消防団の組織等に関する規則の一部の改正を行い、消防分団（第6分団、第12分団）の受持ち区域を一部改めた。

平26.12.23 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）1台購入、第8分団に配置。

平27. 4. 1 消防本部、署職員1名採用。実員45名。

平27. 4. 1 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の改正を行い、消防団員定数を183名から184名に改めた。

平27. 9. 2 救急救命士1名養成。（運用救急救命士数12名）

平27.10.17 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）1台購入、第3分団に配置。

平27.10.17 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）1台購入、第6分団に配置。

平27.11. 8 埼玉県日高市と災害時相互応援協定を締結

平27.12. 1 消防救急デジタル無線運用開始。

歴代消防長

代別	氏 名	就 任、退 任 年 月 日	備 考
初代	豊田 由登	昭和43年4月1日 ～ 昭和45年10月1日	助役兼務
2 代	望月 止戈郎	昭和46年6月18日 ～ 昭和49年12月10日	助役兼務
3 代	小田島 藤雄	昭和49年12月21日 ～ 昭和53年12月20日	助役兼務
4 代	秋本 芳男	昭和54年6月1日 ～ 昭和61年3月31日	
5 代	原田 早苗	昭和61年4月1日 ～ 平成6年3月31日	
6 代	坂田 吉徳	平成6年4月1日 ～ 平成6年8月11日	
7 代	古正 直治	平成6年8月12日 ～ 平成7年3月31日	助役兼務
8 代	小嶋 健二	平成7年4月1日 ～ 平成11年9月30日	
9 代	小清水 重雄	平成11年10月1日 ～ 平成15年3月31日	
10代	三好 正則	平成15年4月1日 ～ 平成15年9月30日	
11代	仲出川 松雄	平成15年10月1日 ～ 平成17年3月31日	
12代	今井 正	平成17年4月1日 ～ 平成20年3月31日	
13代	穂坂 優	平成20年4月1日 ～ 平成21年3月31日	
14代	二宮 栄治	平成21年4月1日 ～ 平成26年3月31日	
15代	和田 勝巳	平成26年4月1日 ～	

歴代消防団長

代別	氏 名	就 任、退 任 年 月 日	備 考
初代	曾根田 恭男	昭和30年6月1日 ～ 昭和32年3月31日	町長兼務
2 代	湯井 秀雄	昭和32年4月1日 ～ 昭和36年3月31日	
3 代	齋藤 栄一	昭和36年4月1日 ～ 昭和63年3月31日	
4 代	伊藤 利雄	昭和63年4月1日 ～ 平成3年3月31日	
5 代	二宮 喜代司	平成3年4月1日 ～ 平成11年3月31日	
6 代	田邊 邦雄	平成11年4月1日 ～ 平成15年3月31日	
7 代	杉崎 英雄	平成15年4月1日 ～ 平成27年3月31日	
8 代	奥野 和夫	平成27年4月1日 ～	

消防庁舎の現況

【消防本部・署庁舎】

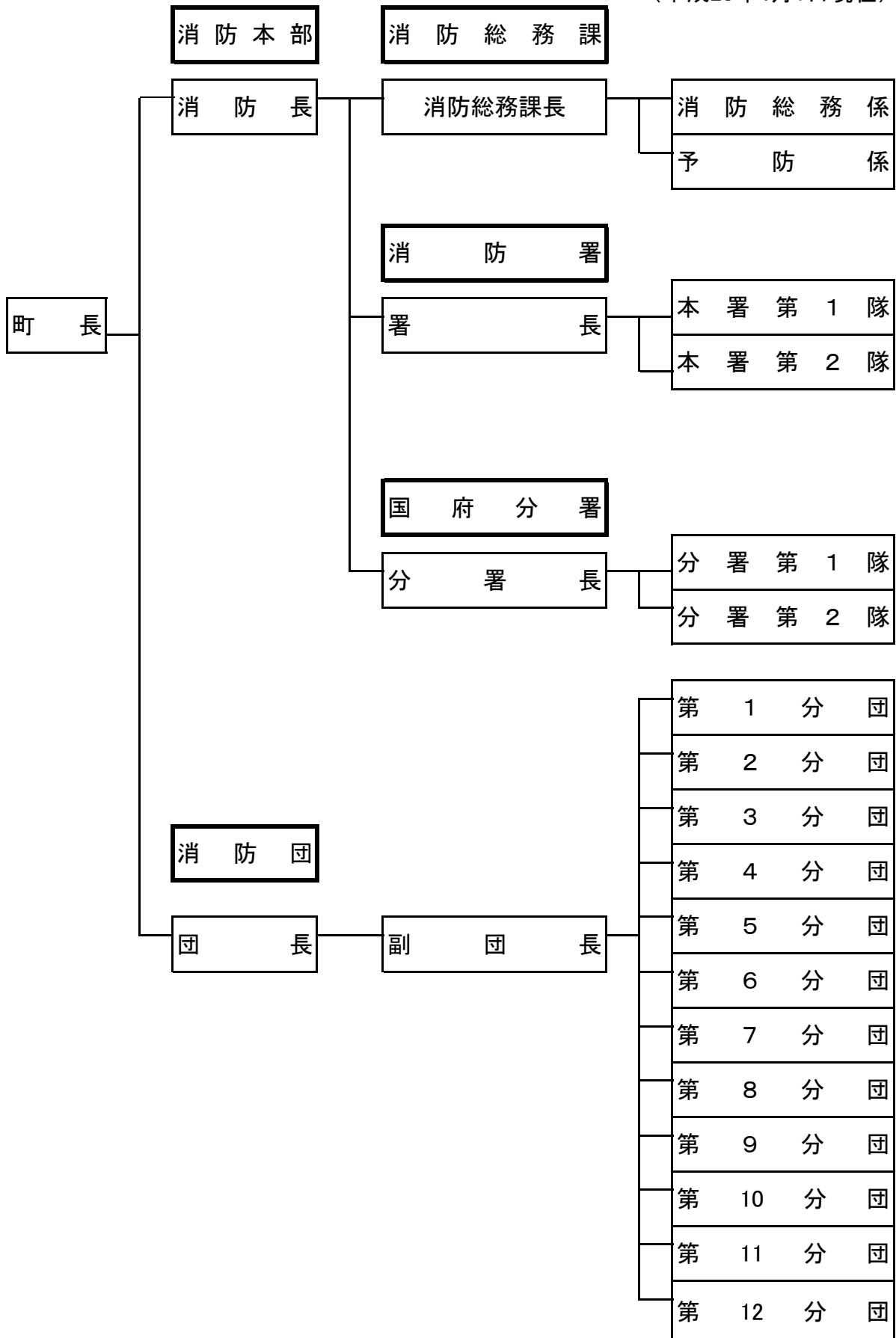
所在地	神奈川県中郡大磯町大磯1075番地
構造	鉄筋コンクリート造 4階建
敷地面積	815.62 m ²
建築面積	495.16 m ²
延べ面積	1,384.96 m ²
1 階	320.22 m ²
2 階	486.16 m ²
3 階	486.16 m ²
屋上階	92.42 m ²
竣工年月日	昭和49年 8 月 5 日

【国府分署】

所在地	神奈川県中郡大磯町月京 6 番地10号
構造	鉄骨造
敷地面積	246.41 m ² (全体敷地 1,182.36m ²)
建築面積	246.41 m ²
竣工年月日	平成 8 年 7 月15日 (西部地区防災施設整備工事全体工期)

消防機構図

(平成28年4月1日現在)



消防本部・署事務分掌

(平成28年4月1日現在)

[消防本部]

消防総務課

消防総務係 予防係

- (1) 公印の管理に関すること。
- (2) 消防職員の任免、賞罰、服務及びその他身分に関すること。
- (3) 消防職員の給与及び旅費等諸手当に関すること。
- (4) 消防職員の労働安全衛生に関すること。
- (5) 消防職員の公務災害補償及び償慰に関すること。
- (6) 消防庁舎の維持管理及び物品の購入に関すること。
- (7) 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。
- (8) 消防職員の褒賞及び表彰に関すること。
- (9) 消防職員委員会に関すること。
- (10) 消防長会に関すること。
- (11) その他部内の庶務に関すること。
- (12) 消防業務の企画及び調査に関すること。
- (13) 消防組織制度及び事務改善に関すること。
- (14) 広報及び統計に関すること。
- (15) 消防団員の任免、服務及びその他身分に関すること。
- (16) 消防団員の報酬等に関すること。
- (17) 消防団員等の公務災害補償及び償慰に関すること。
- (18) 消防団詰所の維持管理及び物品の購入に関すること。
- (19) 火災予防の計画に関すること。
- (20) 防火管理者の育成、指導に関すること。
- (21) 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
- (22) 火災予防思想の普及、啓発に関すること。
- (23) 建築確認の同意事務に関すること。
- (24) 防火対象物の火災予防査察及び指導並びに防火対象物点検報告制度に関すること。
- (25) 大磯町火災予防条例（昭和37年3月大磯町条例18号）に基づく届出（消防署で処理するものを除く。）の処理に関すること。
- (26) 火災予防関係団体の育成、指導に関すること。
- (27) 火災予防及び危険物の統計に関すること。
- (28) 危険物製造所等の許認可事務に関すること。
- (29) 危険物製造等の火災予防査察及び指導に関すること。
- (30) 危険物の貯蔵、取り扱い及び運搬の指導に関すること。
- (31) 危険物保安監督者及び危険物取扱者等の育成、指導に関すること。
- (32) その他火災予防に関すること。

[消 防 署]

本署第1隊、本署第2隊

第1消防救助隊、第2消防救助隊

- (1) 水火災又は災害等の警戒及び防ぎょに関すること。
- (2) 水火災等の防ぎょ計画の策定に関すること。
- (3) 消防地理及び消防水利の調査、維持管理に関すること。
- (4) 防火対象物の警防調査、警防計画に関すること。
- (5) 消防車両等の購入及び整備に関すること。
- (6) 消防機械器具及び資機材等の維持管理に関すること。
- (7) 火災原因及び損害調査並びに消防諸証明に関すること。
- (8) 火災、救助その他の災害出動及び災害の情報収集に関すること。
- (9) 火災、救助、災害等の伝達並びに広報活動に関すること。
- (10) 枯草及び空家等の火災予防対策に関すること。
- (11) 消防活動に支障を及ぼす行為等の届出に関すること。
- (12) 消防活動、救助活動及び訓練の技術並びに計画に関すること。
- (13) 水難救助活動に関すること。
- (14) 通信業務に関すること。
- (15) 消防、救助等の指令及び無線通信に関すること。
- (16) 消防通信機器の点検、整備に関すること。
- (17) 消防総合気象観測に関すること。
- (18) その他消防活動及び救助活動に関すること。

第1救急隊、第2救急隊

- (1) 救急活動及び訓練の技術並びに計画に関すること。
- (2) 救急出動及び情報収集に関すること。
- (3) 救急の伝達及び広報活動に関すること。
- (4) その他救急活動に関すること。

[国府分署]

分署第1隊、分署第2隊

- (1) 水火災又は災害等の警戒、防ぎょ及び人命救助に関すること。
- (2) 水火災等の防ぎょ計画の策定に関すること。
- (3) 救急救助活動及び消防訓練の技術並びに計画に関すること。
- (4) 救急救助等の出動及び情報収集に関すること。
- (5) 救急救助等の伝達及び広報活動に関すること。
- (6) 消防地理及び消防水利の調査、維持管理に関すること。
- (7) 防火対象物の警防調査、警防計画に関すること。
- (8) 消防機械器具及び資機材の維持管理に関すること。
- (9) 火災原因及び損害調査に関すること。
- (10) 火災、その他の災害出動及び災害の情報収集に関すること。
- (11) 火災及び災害等の伝達並びに広報活動に関すること。
- (12) 枯草及び空家等の火災予防対策に関すること。
- (13) 消防活動に支障を及ぼす行為等の届出に関すること。
- (14) その他消防活動に関すること。

消防本部・署の現勢

(平成28年4月1日現在)

大磯町消防本部・消防署 設置年月日	昭和43年4月1日	
国府分署 設置年月日	平成8年4月1日	
管轄地区（大磯町全域） ※出典：平成27年国勢調査速報値を基準人口とした推計人口	面積	17.232km ²
	人口	31,497人
	世帯数	12,274世帯
消防職員数	定員 45人	実員 45人
配置人員	本部・署 35人	分署 10人

配置車両・無線局	本 署	分 署
水槽付消防ポンプ自動車	1 台	
普通消防ポンプ自動車	1 台	1 台
救助工作車	1 台	
小型動力ポンプ	5 台	1 台
高規格救急車	2 台	1 台
指令車	1 台	
指揮車	1 台	
防災資機材運搬車	1 台	1 台
防災活動車	1 台	
基地局 (VHF・10W) (アナログ 全国波1・2・3)	3 基	
基地局 (VHF・10W) (アナログ 県内共通波・市町村波)	2 基	
基地局 (VHF・10W) (アナログ 救急波)	1 基	
基地局 (10W) (デジタル 主運用波)	1 基	
基地局 (20W) (デジタル 消防波)	1 基	
基地局 (20W) (デジタル 救急波)	1 基	
基地局 (10W) (デジタル 統制波)	3 基	
陸上移動局 (1W) (アナログ 携帯型)	6 基	2 基
陸上移動局 (5W) (アナログ 携帯型)	5 基	2 基
陸上移動局 (10W) (アナログ 可搬型)	1 基	1 基
陸上移動局 (5W) (デジタル 車載型)	9 基	3 基
陸上移動局 (2W) (デジタル 携帯型)	8 基	1 基
陸上移動局 (5W) (デジタル 卓上型)	1 基	1 基
陸上移動局 (1W) (デジタル 署活型)	13 基	4 基

常備消防力の基準と現有消防力の比較

(平成28年4月1日現在)

区分 要因	整備数 (台)	算定数 (人)	現有数 (人)	算定数と比較した現有 数に対する 不足数 (人)
署所(第4条)	2			
消防ポンプ自動車(第5・29条)	3	36	40	38
はしご自動車(第7・29条)	0	0		
化学消防車(第8・9・10条)	0	0		
その他特殊車等(第16条)	0	0		
救急自動車(第13・28条)	2	18		
救助工作車(第14・29条)	1	15		
指揮車(第15・30条)	1	9		
小 計	7	78	40	38
通信員(第31条)		5	0	5
予防要員(第32条)		5	1	4
庶務の処理等の人員(第34条)		6	4	2
合 計	7	94	45	49

※ 算定数の算出根拠及び表内の条数は「消防力の整備指針」(平成12年1月消防庁告示第1号)によるものです。

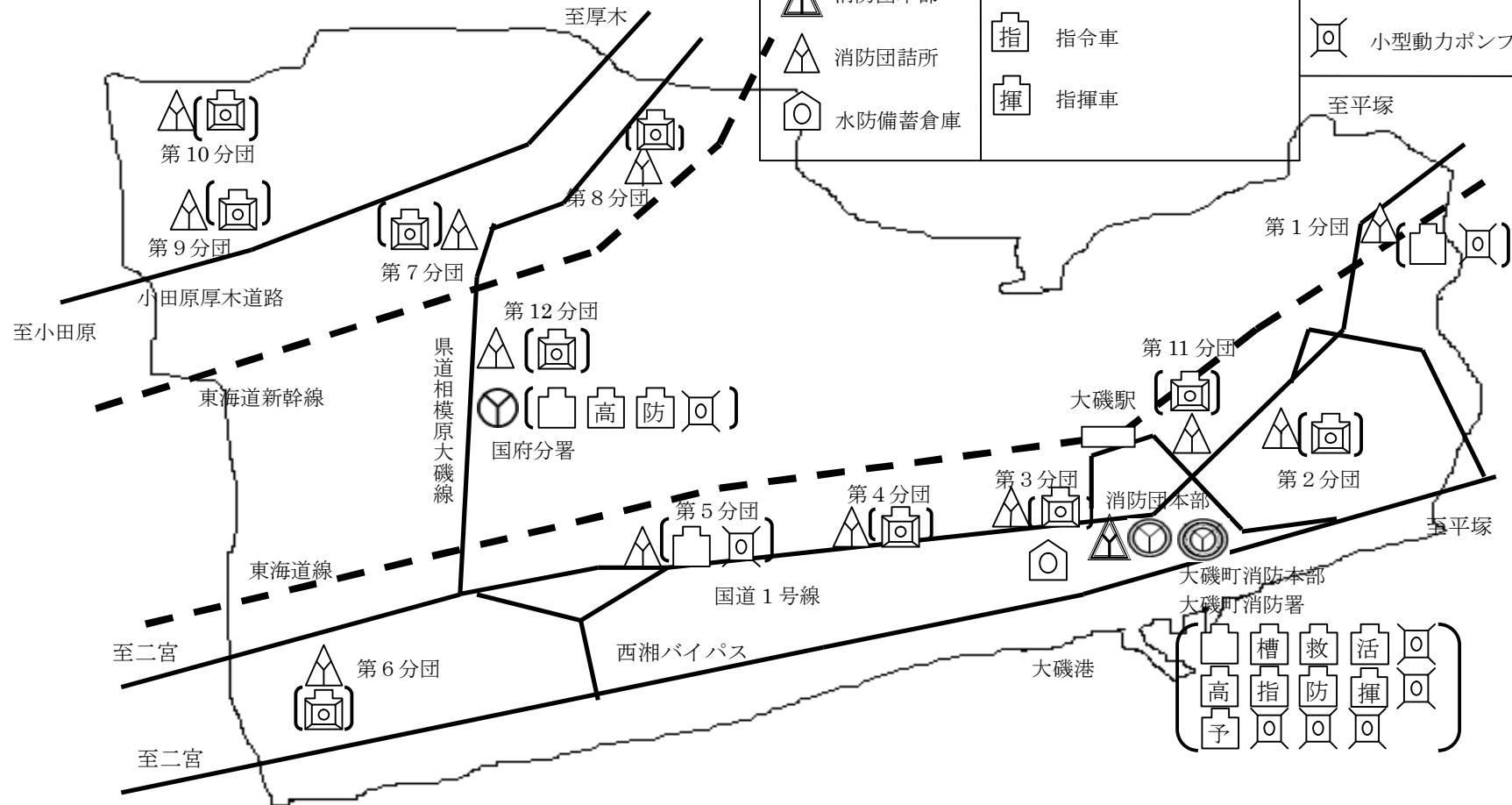
※ 通信員の実員数は、専属の通信員が存在しないという意味で0名と表記してあるもので、出勤時には通信要員として必ず2名が残留する体制をとっています。

※ 予防要員の現有数は、専任の予防要員が1名という意味で表記してあるもので、予防要員と隊員を兼務する職員は計上していません。

※ 庶務の処理等の人員は、専任の職員4名となっています。

消防配置図

凡 例					
	消防本部		消防ポンプ自動車		高規格救急自動車(予備)
	消防署		水槽付消防ポンプ自動車		防災資機材搬送車
	消防分署		救助工作車		防災活動車
	消防団本部		高規格救急自動車		小型動力ポンプ積載車
	消防団詰所		指令車		小型動力ポンプ
	水防備蓄倉庫		指揮車	至平塚	



消防本部・署現有車両機械状況

(平成28年4月1日現在)

車両別	車名 型式	登 録 年月日	配置 場所	無線局の 呼出符号	原動機 気筒容 積(cc)	ポ ン プ		
						社名	型式	級別
水槽付消防ポンプ自動車	日野 BDG- GX7JGWA改	平成21年 1月27日	本署	おいそ 1	6,400	日本 ドライケミカル 株式会社	二段 B T	A-2
消防ポンプ 自動車	いすゞ KK-NKR 71GN改	平成13年 3月16日	本署	おいそ 5	4,570	日本 機械工業 株式会社	二段 B T	A-2
消防ポンプ 自動車	いすゞ BKG-NMR 85N	平成22年 1月13日	国府 分署	こくふ 1	2,999	日本 機械工業 株式会社	二段 B T	A-2
高規格救急車	トヨタ CBF-TRH 221S	平成19年 11月9日	本署	おいそ きゅうきゅう1	2,693			
高規格救急車	ニッサン CBF-FPGE 50改	平成22年 3月1日	国府 分署	おいそ きゅうきゅう2	3,498			
高規格救急車	トヨタ GE-VHC 132S	平成14年 3月26日	本署	おいそ きゅうきゅう3	3,378			
救助工作車	日野 ADG- GD7JGWA改	平成19年 3月27日	本署	おいそ きゅうじょ1	6,400			
指令車	ニッサン E-EV14改	平成10年 3月17日	本署	おいそ しれい1	1,830			
指揮車	ニッサン DBA-C25	平成21年 9月28日	本署	おいそ しき1	1,997			
防災資機材 運搬車	ホンダ CD-HA7	平成13年 8月23日	本署	おいそ 4	656			
防災資機材 運搬車	ホンダ V-HA4	平成9年 3月21日	国府 分署	おいそ 3	650			
防災活動車	ニッサン GBD-U72V	平成22年 1月28日	本署	おいそ 2	650			
救助艇用 トレーラー	ソレックス ポート16F	平成22年 1月6日	本署					
小型動力ポンプ		平成13年 10月16日	本署			トーハツ 株式会社	VC62A	B-3
小型動力ポンプ		昭和60年 9月30日	本署			トーハツ 株式会社	V38BS	B-3
小型動力ポンプ		昭和55年 8月6日	本署			トーハツ 株式会社	V38AS	B-3
小型動力ポンプ		昭和55年 8月6日	本署			トーハツ 株式会社	V38AS	B-3
小型動力ポンプ		昭和62年 10月16日	本署			トーハツ 株式会社	V38BS	B-3
小型動力ポンプ		昭和60年 10月29日	分署			トーハツ 株式会社	V38CS	B-3

機械器具等

消防用

(平成28年4月1日現在)

分類	機械器具名	数量	分類	機械器具名	数量
測定用器具	炭化深度計	2	測定用器具		

救急用

分類	機械器具名	数量	分類	機械器具名	数量
救急用器具	バックボード	5	救急用器具	紫外線殺菌ロッカー	1
	半自動式除細動器	4		心肺蘇生訓練用人形	11
	ガス滅菌器	2		気管内挿管用人形	1
	紫外線殺菌消毒器	2		特定行為訓練用人形	3
	除菌用オゾン発生器	2		AEDトレーニングユニット	7

救助用

分類	機械器具名	数量	分類	機械器具名	数量
一般救助用器具	かぎ付きはしご	3	隊員保護用器具	耐電手袋	5
	三連はしご	4		耐電衣	2
	折りたたみはしご	1		耐電ズボン	2
	ワイヤーはしご	1		耐電長靴	2
	救命索発射銃	1		防塵メガネ	9
	サバイバースリング及び救助用縛帯	10		携帯警報器	13
	平担架	2		防毒マスク	15
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1		化学防護服(陽圧式含)	16
	油圧スプレッダー(エナパック含)	1		耐熱服	2
	可搬ウインチ	2		放射線防護服	2
	マンホール救助器具	1		防毒衣(一式)	2
	マット型空気ジャッキ(一式)	1	水難救助用器具	潜水器具	5
	電動吊下型ウインチ	1		救命胴衣	31
切断用器具	油圧切断機	2		水中投光器	2
	エンジンカッター	5		救命浮環	6
	ガス溶断器	1		浮標	1
	チェーンソー	7		救命ボート	1
	鉄線カッター	15		船外機	2
	空気鋸	1		レスキューチューブ	1
破壊用器具	万能斧	5		レスキューボード	1
	ハンマー	2	山岳救助用器具	登山器具	一式
	削岩機	1		バスケット型担架	1
	ハンマドリル	1	高度救助用器具	熱画像直視装置	1
呼吸保護用器具	空気呼吸器	20		簡易画像探査機	1
	空気補充用ボンベ	2	その他の救助用器具	投光器	20
	簡易呼吸器	2		携帯投光器	10
	防塵マスク	12		携帯拡声器	7
	送排風機	1		携帯無線機	16
測定用器具	可燃性ガス測定器	5		応急処置用セット	4
	有毒ガス検知器	3		ロープ登降機	2
	酸素濃度測定器	3		発電機	9
	放射線測定器	11			

予防用

分類	機械器具名	数量	分類	機械器具名	数量
予防用具	煙体験ハウス	2	予防用具	消火器使用法訓練装置	1
	訓練用屋内消火栓	1			

消防水利状況

消火栓

(平成28年4月1日現在)

	第一管区	第二管区	第三管区	第四管区	第五管区	第六管区	第七管区	第八管区	合計
公 設	71	72	60	68	54	65	109	59	558
私 設	1		2			1	2		6
合 計	72	72	62	68	54	66	111	59	564

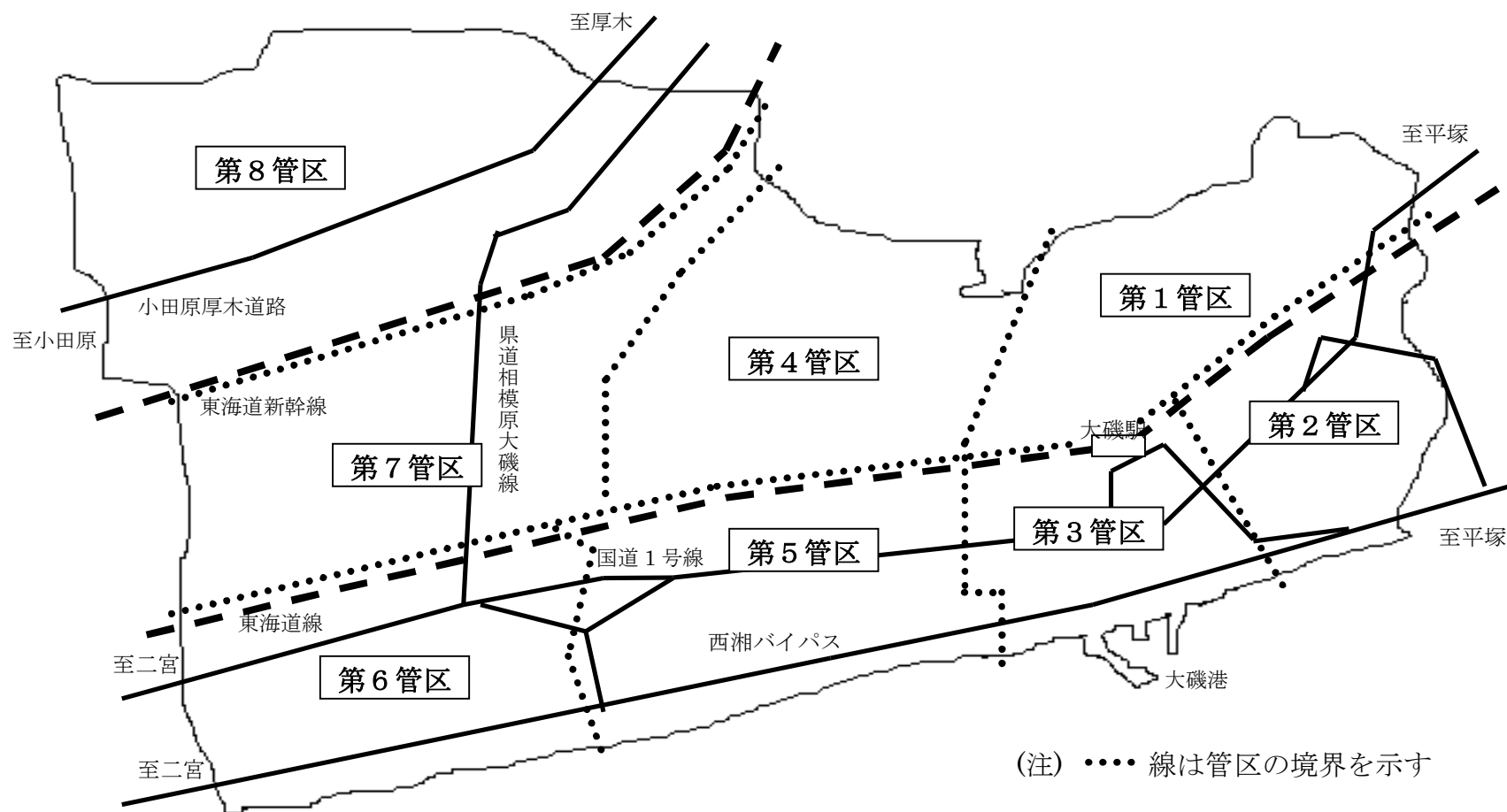
防火水槽

(平成28年4月1日現在)

		第一管区	第二管区	第三管区	第四管区	第五管区	第六管区	第七管区	第八管区	合計
公 設	40m ³ 未満	0	2	6	1	1	2	1	10	23
	40m ³ 以上	6 (4)	10 (7)	5 (3)	3 (2)	5 (3)	9 (3)	15 (8)	3 (3)	56 (33)
私 設	40m ³ 未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40m ³ 以上	2 (2)	2 (2)	9 (9)	3 (3)	5 (5)	5 (4)	7 (6)	2 (2)	35 (33)
合 計		8	14	20	7	11	16	23	15	114

※容量40m³以上の括弧内は、耐震性防火水槽の内数です。

町内消火栓管区図



総務

主要行事

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

4 月 1 日	消防団員教養研修会 (保健センター)
4 月 5 日	分団長会議 (保健センター)
4 月 9 日	第211期消防職員初任教育入校式 (神奈川県消防学校)
4 月10日	神奈川県消防長会湘南地区協議会総会 (茅ヶ崎市)
4 月17日	神奈川県消防長会総会 (川崎市)
4 月19日	消防団基礎訓練 (大磯ロングビーチ第 3 駐車場)
4 月24日	神奈川県消防協会湘南支部総会 (湯河原町)
5 月15日	神奈川県消防協会湘南地区協議会総会 (寒川町)
5 月17日	消防団ポンプ性能検査・遠距離放水訓練 (東の池)
5 月20日	第13回湘南地区消防救助技術訓練会 (藤沢市)
6 月17日	第40回神奈川県消防救助技術指導会 (神奈川県総合防災センター)
6 月23日	多数傷病者対応訓練 (大磯港)
7 月 2 日	分団長会議 (保健センター)
7 月24日	神奈川県津波対策訓練 (町内)
8 月 2 日	神奈川県消防協会湘南支部消防訓練 (東の池)
8 月23日	大磯町総合防災訓練 (町内)
9 月30日	第211期消防職員初任教育卒業式 (神奈川県消防学校)
10月 5 日	分団長会議 (保健センター)
10月21日	神奈川県殉職消防職団員慰霊祭 (神奈川県総合防災センター)
10月31日	かながわ消防フェア (横浜市)
11月 9 日	第26回屋内消火栓及び消火器取扱い訓練 (大磯ロングビーチ第 3 駐車場)
11月14日	津波対応訓練 (町内)
12月 6 日	第10回湘南国際マラソン救護 (大磯ロングビーチ)
12月 8 日	分団長会議 (保健センター)
1 月10日	消防出初式 (大磯運動公園)
1 月16日	文化財防火デー消防訓練 (鳴立庵)
1 月17日	第62回大磯一周駅伝 (大磯運動公園)
2 月 4 日	分団長会議 (保健センター)
3 月27日	第 5 回大磯ちびっこ駅伝救護及び消防体験 (大磯運動公園)
3 月28日	神奈川県消防功労者表彰式 (横浜市)

消防予算額(平成28年度)

款	項	目	金 額(千円)	比 率(%)
消防費	消防費		541,857	100.00
	内 訳	常備消防費	502,362	92.71
		非常備消防費	39,239	7.24
		水防費	256	0.05

町総予算(一般会計)と消防予算との比較

単位:千円

年度 区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
町総予算額	9,475,000	9,660,000	10,125,000
消防予算額	491,647	480,683	541,857
町総予算に対する 消防予算の比率(%)	5.19%	4.98%	5.35%

消防費(平成28年度)と世帯・人口比

予算区分		額(千円)	1世帯あたり(円)	人口1人あたり(円)
町総予算額		10,125,000	824,914	321,459
消防費予算額		541,857	5.35	44,147
内 訳	常備消防費	502,362	4.96	40,929
	非常備消防費	39,239	0.39	3,197
	水防費	256	0.003	21
				8

※ 平成28年4月1日現在、大磯町の世帯数:12,274世帯、人口:31,497人

※ 出典:平成27年国勢調査速報値を基準人口とした推計人口

消防職員定員・実員・年齢

(平成28年4月1日現在)

年齢 階級		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	階級（事務職無し）	計
定員		（階級別の定員無し）							45人
実員		1	12	8	15	3	6	-	45人
年齢	20歳以下						1		1
	21歳～25歳						5		5
	26歳～30歳				6	2			8
	31歳～35歳				6	1			7
	36歳～40歳			3	3				6
	41歳～45歳		4	4					8
	46歳～50歳		4	1					5
	51歳～60歳	1	4						5
平均年齢		55歳	49歳	42歳	32歳	28歳	22歳	-	37歳

火 災

通 信

気 象

月別火災発生状況

(平成27年中)

区分 月別	火災 件数計	火 災 大 別					原 因 大 別				死傷者		建 物 火 災													林野 焼損面積	損 害 額 （単位:千円）													
		建 物	林 野	船 舶	車 両	その 他	失 火	放 火	不 審 火	その 他	死 傷 者	負 傷 者	焼損棟数				り災世帯数				り 災 人 員	焼 損 面 積					建物		林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	計						
													火 元 棟				延 焼 棟			全 損		半 損	小 損	計	全 焼		半 焼	部 分 焼							計	建 築 物	収 容 物			
													全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼																					
計	9 件	4 件			5 件	3 件	5 件		1 件					1 棟			3 棟						1 世帯		2 世帯	3 世帯	5 人		17 ㎡		17 ㎡	a	2, 427	46						2, 473
1月																																								
2月																																								
3月																																								
4月																																								
5月	1				1		1																																	
6月																																								
7月	1				1				1																															
8月	1	1					1										1						1	1	1															
9月																																								
10月																																								
11月	3	2			1	2	1							1		1						1	1	2	4		17		17		2, 427	46					2, 473			
12月	3	1			2	1	2									1																								

原因別火災状況

(平成27年中)

区分 原因別（中分類）	総 件 数	火災種別件数					月 別 件 数												損 害 額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
電氣的の 原因で 発熱する	1 (1)	1 (1)											(1)					1	(8)
化学的の 原因で 発熱する																			
熱的の 原因で 発火する	(2)	(2)					(1)								(1)				(2, 606)
火源あるいは 着火物が 運動により 接触する	(1)	(1)											(1)						(18)
器具機械の 材質や構造の 不良に基づく																			
使用方法が 不良に基づく	1 (1)	1 (1)											(1)				1		1 (20)
主に 交通機関に 起こる事故																			
天災地変 による																			
その他 (放火、放火の 疑い、火遊び等)	7 (2)	4 (1)				3 (1)					1 (1)		1	1		(1)	2	2	2, 472
不明	(2)	(2)					(1)											(1)	(3, 384)
合 計	9 (9)	6 (8)				3 (1)	(2)				1 (1)		1 (3)	1	(1)	(1)	3	3 (1)	2, 473 (6, 036)

※括弧内は、前年数値。

地区別出火状況

年別 町内別	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
高 麗				2	1		1	1	1	1	
東 町	3				2		1	1	2		
長 者 町						1					3
山 王 町	1					1		1	1		
神 明 町	1	1	1						1	1	
北 本 町						1					
北 下 町					2		1				
南 本 町											
南 下 町						1	2				1
茶 屋 町					1					1	1
裡 道							1				
台 町		1	1	1	1			1			
西 小 磯 東	2		1		1						1
西 小 磯 西		2	1	1	1		1				
中 丸	2	1	2			1		2	1		1
馬 場			1		1	1			1	3	2
国 府 新 宿	1			1	1	1		2	2	2	
月 京	1	1	1		1		1		2		
生 沢	1		1	1						1	
寺 坂		2						2	1		
虫 窪	2					2		1			
黒 岩											
西 久 保											
石 神 台	1										
無 番 地					1						
合 計	15	8	9	6	13	9	8	11	12	9	9

専用電話(119番)月別着信状況

(平成27年中)

種別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	2	1	6
救急	122	103	94	107	78	80	105	129	100	114	96	92	1,220
訓練	0	7	12	2	2	8	4	8	2	7	18	2	72
問い合わせ	20	11	15	12	13	16	23	22	19	13	19	29	212
間違い	4	7	7	7	7	10	3	6	6	9	16	10	92
いたずら	0	0	1	0	2	1	0	0	0	1	1	0	6
試験	106	92	109	98	96	96	115	96	111	96	83	110	1,208
その他	80	70	66	71	63	42	100	55	62	81	64	94	848
着信総数	332	290	304	297	262	253	351	317	300	321	299	338	3,664

現有無線局状況

(平成28年4月1日現在)

所 属	種 別	型 式	出 力	台 数
消 防 署	基 地 局	アナログ県内波	10W	1
		アナログ専用波	10W	1
		アナログ救急波	10W	1
		アナログ全国波	10W	3
		デジタル主運用波	10W	1
		デジタル消防波	20W	1
		デジタル救急波	20W	1
		デジタル統制波	10W	3
	陸 上 移 動 局	デジタル車載型	5W	12
		アナログ携帯型	1W	8
			5W	7
		デジタル携帯型	2W	9
		アナログ可搬型	10W	2
		デジタル卓上型	5W	2
		デジタル署活型	1W	17
	アナログ無線用受令機			2
	デジタル無線用受令機			2
消 防 団	デジタル簡易無線機（登録局）	車 載 型	5W	3
		携 帯 型	5W	42
	無 線 用 受 令 器			2

気象状況・気温と湿度

(平成27年中)

種別 月別	気温(℃)			湿度(%)			実効湿度(%)			雨量(mm)	
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	総雨量	時間最高
年中	35.0	-6.2	16.3	99.1	10.0	65.7	88.2	41.4	65.6	1451.5	35.0
1月	14.4	-2.6	6.3	99.1	14.4	54.0	67.5	41.4	53.9	101.0	8.0
2月	18.6	-6.2	6.5	98.8	15.5	56.8	72.7	42.3	57.1	28.0	2.5
3月	20.1	1.3	10.1	96.3	17.5	57.4	73.1	42.5	56.7	108.0	8.0
4月	22.3	2.6	14.3	97.7	25.8	69.7	80.3	60.9	69.0	96.5	5.0
5月	26.7	11.8	19.7	96.6	19.1	67.4	74.9	55.3	66.9	104.0	30.0
6月	27.0	17.3	21.5	95.8	46.6	77.2	81.2	66.2	76.4	54.5	5.5
7月	32.2	19.0	25.0	94.1	47.5	79.2	88.2	70.1	78.9	309.0	18.5
8月	35.0	17.3	26.4	95.2	35.8	74.8	79.4	68.5	74.5	136.0	35.0
9月	30.3	16.3	22.8	95.2	20.5	72.4	84.3	60.3	73.7	278.0	15.5
10月	27.9	11.0	18.7	94.7	16.1	61.3	67.9	51.6	61.1	22.5	5.5
11月	22.6	3.6	14.6	97.5	10.0	67.1	79.7	52.1	67.3	116.0	10.0
12月	23.1	1.6	10.2	96.6	19.7	54.8	63.5	47.4	55.2	98.0	33.5

気象通報受信状況

(平成27年中)

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
警 報	大 雨					1		1	1	2			1	6
	洪 水					1			1	1			1	4
	波 浪					1		1	1				1	4
	暴 風					1								1
	高 潮													0
	小 計	0	0	0	0	4	0	2	3	3	0	0	3	15
注 意 報	乾 燥	4	2	8		4					2		6	26
	強 風	12	10	11	14	7	6	4	4	7	6	5	6	92
	波 浪	1	1	3	4	2	3	4	3	2	2	2	2	29
	大 雨			1			3	5	3	7	2		1	22
	洪 水			1			3	3	3	5	2		1	18
	雷	3	3	6	5	2	6	8	10	5	2	2	1	53
	濃 霧			1	1	4	2	1				1		10
	霜				2									2
	低 温	4	2											6
	大 雪	1	1											2
	着 雪	1	1											2
	風 雪													0
	津 波					1								1
	光化学スモッグ													0
	小 計	26	20	31	26	20	23	25	23	26	16	10	17	263
情 報	大 雨			1				5	8	17				31
	台 風					6		8		4				18
	低 気 圧													0
	雪	3	9											12
	火 災 予 防	24	11	16	7	9		2			9	2	12	92
	小 計	27	20	17	7	15	0	15	8	21	9	2	12	153
合 計		53	40	48	33	39	23	42	34	50	25	12	32	431

救急・救助

救急活動状況

(平成27年中)

種別 月別		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ の 他				不	本	国	計
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	転	医	資	そ	搬	署	府	
1 月	出場件数				9		1	21	1	3	103	13			2	(6)	84	69	153
	搬送人員				8		1	20	1	3	102	13					83	65	148
2 月	出場件数				7	1	3	30			83	8			1	(10)	71	62	133
	搬送人員				6	1	3	29			78	8					69	56	125
3 月	出場件数			1	14		1	14	1	2	82	11			1	(4)	73	54	127
	搬送人員			1	15		2	14	1	2	80	11					74	52	126
4 月	出場件数				15	1	3	25		1	87	7			1	(5)	81	59	140
	搬送人員				13	1	3	25			87	7					79	57	136
5 月	出場件数				8		3	8		1	77	6			2	(6)	52	53	105
	搬送人員				8		3	6		1	75	6					48	51	99
6 月	出場件数			1	8		3	18		1	72	3				(3)	58	48	106
	搬送人員			1	7		3	17		1	71	3					57	46	103
7 月	出場件数			1	9	1	1	23			90	5				(5)	74	56	130
	搬送人員			1	9	1	1	22			87	5					72	54	126
8 月	出場件数			3	10		2	28	1	2	94	8			2	(7)	78	72	150
	搬送人員			3	10		2	26	1	2	95	8					78	69	147
9 月	出場件数			2	13	1		25		1	85	4			1	(7)	75	57	132
	搬送人員				15	1		25		1	82	4					74	54	128
10月	出場件数			1	10		5	29	2	1	84	8			4	(11)	75	69	144
	搬送人員				7		5	27	1	1	84	8					72	61	133
11月	出場件数				10			24			83	7				(9)	65	59	124
	搬送人員				7			23			78	7					60	55	115
12月	出場件数				12	2	4	19		3	79	6	2		1	(12)	67	61	128
	搬送人員				13	2	4	17		1	75	6					60	58	118
本署	出場件数			4	71	1	10	147	3	10	575	26	2		4	(37)	853		853
	搬送人員			5	69	1	11	142	3	7	562	26					826		826
国府 分署	出場件数			5	54	5	16	117	2	5	444	60			11	(48)		719	719
	搬送人員			1	49	5	16	109	1	5	432	60						678	678
合計	出場件数			9	125	6	26	264	5	15	1019	86	2		15	(85)	853	719	1,572
	搬送人員			6	118	6	27	251	4	12	994	86					826	678	1,504

※括弧内、不搬送件数は出動件数の内数です。

地区別救急出場件数

年 町名		平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
東 部 地 区		836	871	832	781	858	893	792	821	875	861
西 部 地 区		549	626	531	550	579	622	669	671	700	671
町 内 無 番 地			14	9	10	12	14	11	19	7	17
大 磯 町 外		22	28	14	16	23	14	24	18	17	23
東 部 地 区	高 麗	109	115	131	121	101	151	125	130	117	122
	東 町	71	75	95	65	79	92	69	67	79	60
	長 者 町	53	61	66	52	63	44	73	75	88	74
	山 王 町	95	98	95	77	82	90	71	80	78	78
	神 明 町	44	40	39	36	44	27	39	36	48	53
	北 本 町	17	31	14	19	23	21	12	19	18	17
	北 下 町	45	42	36	44	32	41	30	51	46	35
	南 本 町	17	15	21	31	25	17	20	18	20	13
	南 下 町	35	39	31	35	39	26	26	30	29	36
	茶 屋 町	36	32	33	28	28	38	34	41	47	53
	裡 道	3	0	3	1	4	2	5	2	1	1
	台 町	131	146	118	117	134	140	113	110	129	127
	西 小 磯 東	132	128	109	108	144	158	121	117	126	141
	西 小 磯 西	48	49	41	47	60	46	54	45	49	51
西 部 地 区	中 丸	117	132	108	104	113	141	148	141	169	152
	馬 場	93	109	93	97	88	107	108	115	120	114
	国 府 新 宿	110	109	120	114	120	132	146	132	127	129
	月 京	105	129	93	93	87	81	105	120	117	109
	生 沢	47	69	39	52	62	61	61	56	70	66
	寺 坂	21	12	6	8	10	14	12	17	10	14
	虫 窪	26	25	23	34	41	28	33	29	35	40
	黒 岩	7	12	9	8	8	14	13	13	7	7
	西 久 保	4	7	7	4	9	6	5	5	9	11
	石 神 台	19	22	33	36	41	38	38	43	36	29
合 計		1,407	1,539	1,386	1,357	1,472	1,543	1,496	1,529	1,599	1,572

※大磯町内の無番地地域（海岸等）は、平成19年より救急現場直近の地区とはせず、無番地地域として別枠を設けました。

時間別救急出場件数

(平成27年中)

種別 時間別	合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害 事故	自損 行為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他
0～2	59							10	1	1	42	4			1
2～4	54				1	1		5	1		43	2			1
4～6	64				2			6			52	3			1
6～8	117			3	13	1		19			80	1			
8～10	212			1	10		4	41		3	143	8			2
10～12	198			1	19	1	8	35		4	111	18			1
12～14	174			2	18		5	37	1	1	96	11	1		2
14～16	166			1	18	3	2	38		1	94	6	1		2
16～18	155			1	19		3	29		2	88	13			
18～20	160				14		4	22	1	1	106	12			
20～22	92				2			9		1	75	3			2
22～24	121				9			13	1	1	89	5			3
合 計	1,572			9	125	6	26	264	5	15	1,019	86	2		15

曜日別救急出場件数

(平成27年中)

種別 曜日別	合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害 事故	自損 行為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他
日	229			1	23		10	37	1	3	144	5	2		3
月	260			2	18	2	4	40		1	170	22			1
火	253			2	21			43	1	2	166	15			3
水	179				14	2	3	30		2	120	6			2
木	215			1	5	1	3	41	3	2	143	14			2
金	210				20		2	36		2	138	12			
土	226			3	24	1	4	37		3	138	12			4
合 計	1,572			9	125	6	26	264	5	15	1,019	86	2		15

年齢区分別・傷病程度別搬送人員

(平成27年中)

事故種別 区分		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他	合計
新生児	死亡												
	重症												
	中等症												
	軽症										1		1
	その他												
	小計										1		1
乳幼児	死亡												
	重症												
	中等症							2			15	2	19
	軽症				6			9			25	1	41
	その他												
	小計				6			11			40	3	60
少年	死亡												
	重症												
	中等症						4	1			4	1	10
	軽症				9		12	19		3	16	1	60
	その他												
	小計				9		16	20		3	20	2	70
成人	死亡				1						2		3
	重症			1	3	1		1			11	6	23
	中等症			3	13	1	2	14	2	5	108	16	164
	軽症			2	62	2	9	34	2	3	130	1	245
	その他												
	小計			6	79	4	11	49	4	8	251	23	435
高齢者	死亡							1			15		16
	重症				1			6		1	65	16	89
	中等症				8	2		70			372	38	490
	軽症				15			94			230	4	343
	その他												
	小計				24	2		171		1	682	58	938
合計	死亡				1			1			17		19
	重症			1	4	1		7		1	76	22	112
	中等症			3	21	3	6	87	2	5	499	57	683
	軽症			2	92	2	21	156	2	6	402	7	690
	その他												
	合計			6	118	6	27	251	4	12	994	86	1,504

(注) 死亡：初診時において死亡が確認されたものをいいます。
重症：傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするものをいいます。
中等症：傷病程度が1日以上3週間未満の入院加療を必要とするものをいいます。
軽症：傷病程度が入院加療を必要としないものをいいます。
その他：医師の診断がないもの及び、その他の場所へ搬送したものをいいます。

新生児：生後28日未満

乳幼児：生後28日以上7歳未満

少年：7歳以上18歳未満

成人：18歳以上65歳未満

高齢者：65歳以上

収容病院別搬送人員

(平成27年中)

事故種別 病院別		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害 事故	自損 行為	急 病	転院 搬送	合 計
大 磯 地 区	東海大学大磯病院				20	4	4	68	1	2	372	10	481
平 塚 地 区	平塚市民病院			4	65	2	20	123		3	350	9	576
	平塚共済病院				10		1	27	1		207	16	262
	済生会平塚病院				12		1	8	1		2		24
	その他の医療機関										2	1	3
小 計				4	107	6	26	226	3	5	933	36	1,346
そ の 他 の 地 区	東海大学高度救命 救急センター			2	9		1	20	1	7	40	45	125
	小田原市立病院				2			2			3		7
	山近記念総合病院										5	1	6
	小澤病院										4		4
	秦野赤十字病院										2	1	3
	横浜市立大学 附属病院										2	1	3
	その他の医療機関							3			5	2	10
小 計				2	11		1	25	1	7	61	50	158
合 計				6	118	6	27	251	4	12	994	86	1,504

事故種別応急処置回数

(平成27年中)

事故種別 応急処置	事故種別				合計
	急病	交通事故	一般負傷	その他	
応急処置対象人員	994	118	251	141	1,504
止血	4	3	15	1	23
固定	24	98	119	24	265
人工呼吸のみ実施	2			1	3
胸骨圧迫のみ実施					0
心肺蘇生(胸骨圧迫＋人工呼吸)	26	1	1	1	29
※(自動胸骨圧迫器)					0
酸素吸入	321	10	19	49	399
気道確保	37	1	3	2	43
※(経鼻エアウェイ)	13			1	14
※(喉頭鏡・異物除去鉗子)			1		1
※(ラリngeアルマスク等)	9		1		10
※(気管挿管)			1		1
保温	369	28	87	71	555
被覆	4	25	69	4	102
在宅療法維持管理	33		5	2	40
除細動	4				4
静脈路確保	17	1	2	1	21
薬剤投与	13		1	1	15
その他の応急処置	993	118	251	141	1,503
血圧測定	948	113	242	136	1,439
聴診器による聴診	896	107	208	111	1,322
血中酸素飽和度の測定	971	115	247	140	1,473
心電図測定	799	43	87	101	1,030
血糖測定	5				5
応急処置合計	5,466	663	1,356	786	8,271

※ 自動胸骨圧迫器の回数は、心肺蘇生または胸骨圧迫のみを実施した場合の内数です。

※ 経鼻エアウェイ、喉頭鏡、異物除去鉗子、ラリngeアルマスク等、気管挿管の回数は、気道確保の内数です。

月別救急支援活動件数

(平成27年中)

種別 月	支 援 種 別				合計
	交通事故	搬出困難	ヘリポート確認	その他	
1月	3	3	1	17	24
2月	2	4	0	13	19
3月	7	3	0	11	21
4月	3	2	1	11	17
5月	1	3	1	10	15
6月	3	4	2	10	19
7月	4	0	2	12	18
8月	3	4	1	13	21
9月	4	3	0	12	19
10月	5	3	0	10	18
11月	3	5	0	11	19
12月	3	2	0	9	14
合計	41	36	8	139	224

※ 救急支援出動とは、救急隊1隊での活動が困難であると予想される場合や、二次的災害防止等、救急活動を円滑に実施することを目的として消防隊が救急隊と同時に出動するものです。

『交通事故』… 主要幹線道路等での交通事故発生時に、二次災害防止、救急活動を安全かつ円滑に実施する目的で出動するもの。

『搬出困難』… 救急要請場所が中高層建物、急傾斜地、救急車接近困難な場所等で救急隊単独では傷病者搬出困難な場合に出動するもの。

『ヘリポート確認』… 特に緊急性が高く、重症であると判断された傷病者を、高度救命救急センターにドクターヘリコプター(救急専門医搭乗)で搬送するために、臨時ヘリポート確認へ出動するもの。

『その他』… 救急要請時に心肺停止が疑われる場合や通信員が必要と判断した場合、救急隊の活動を円滑に行なうために出動するもの。他に分類されないもの。

月別救助出動件数

(平成27年中)

事故種別 月別		火 災 事 故	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 水 災 害 等	よ 機 る 事 故 に	よ 建 る 物 事 等 故 に	酸 ガ 欠 ス 事 及 故 び	爆 発 事 故	事 そ の 他 の 故	合 計
1月	出場件数		3								3
	救助人員		2								2
2月	出場件数										
	救助人員										
3月	出場件数						2			1	3
	救助人員						2			1	3
4月	出場件数		2				1				3
	救助人員		1				1				2
5月	出場件数						1			1	2
	救助人員						4			1	5
6月	出場件数										
	救助人員										
7月	出場件数										
	救助人員										
8月	出場件数										
	救助人員										
9月	出場件数			2							2
	救助人員										
10月	出場件数		1	1			2				4
	救助人員		1				2				3
11月	出場件数									1	1
	救助人員									1	1
12月	出場件数							1			1
	救助人員							1			1
合計	出場件数		6	3			6	1		3	19
	救助人員		4				9	1		3	17

予 防

防火対象物状況

(単位:棟)

年度 項目		平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
1項	イ 映画館等					
	ロ 公会堂・集会場	14	15	15	16	17
2項	イ キャバレー等					
	ロ 遊技場等					
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等					
3項	イ 料理店等	2	2	2	2	2
	ロ 飲食店	17	17	18	18	21
4項	店舗・マーケット等	22	22	22	21	22
5項	イ 旅館・ホテル	7	6	5	5	4
	ロ 共同住宅等	208	208	210	210	210
6項	イ 病院・診療所	6	6	5	6	6
	ロ 養護老人ホーム等	7	7	8	8	10
	ハ 老人デイサービス等	25	25	25	25	26
	ニ 幼稚園	4	4	4	4	4
7項	学校	20	22	22	26	27
8項	図書館等	2	2	2	2	2
9項	イ 蒸気・熱気浴場					
	ロ イ以外の公衆浴場					
10項	駅舎	1	1	1	1	1
11項	神社・寺院等	11	11	11	11	11
12項	イ 工場・作業場	16	16	15	12	10
	ロ 映画スタジオ					
13項	イ 駐車場等	6	6	6	6	6
	ロ 飛行機等の格納庫					
14項	倉庫	10	10	10	10	10
15項	前各項に該当しない事業所	48	50	51	53	53
16項	イ 特定複合用途	32	34	35	34	35
	ロ 上記以外の複合用途	9	9	9	9	10
17項	重要文化財等				2	2
合 計		467	473	476	481	489

防火管理者届出及び消防計画届出状況

(平成28年3月31日現在)

防火対象物項目		種別	消防法第17条 対象物	防火管理者届出 義務対象物数	防火管理者届出済 対象物数	消防計画届出済 対象物数
1項	イ	映画館等				
	ロ	公会堂・集会場	17	4	4	4
2項	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等				
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
3項	イ	料理店等	2	2	0	0
	ロ	飲食店	21	16	11	9
4項		店舗・マーケット等	22	17	12	9
5項	イ	旅館・ホテル	4	3	3	3
	ロ	共同住宅等	210	22	16	15
6項	イ	病院・診療所	6	1	1	1
	ロ	養護老人ホーム等	10	10	10	10
	ハ	老人デイサービス等	26	26	26	26
	ニ	幼稚園	4	4	4	4
7項		学校	27	7	7	6
8項		図書館等	2	2	2	2
9項	イ	蒸気・熱気浴場				
	ロ	イ以外の公衆浴場				
10項		駅舎	1	0	0	0
11項		神社・寺院等	11	4	3	3
12項	イ	工場・作業場	10	3	3	3
	ロ	映画スタジオ等				
13項	イ	駐車場等	6	4	4	4
	ロ	飛行機等の格納庫				
14項		倉庫	10	0	0	0
15項		前各項に該当しない事業所	53	26	24	23
16項	イ	特定複合用途	35	19	11	8
	ロ	上記以外の複合用途	10	3	3	1
17項		重要文化財等	2	0	0	0
合 計			489	173	144	131

火災予防関係届出状況

(平成27年度中)

区 分 \ 月 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
設備	消防用設備等着工届	1	3	4	7	2	8	7	5	1	7	10	2	57
	消防用設備等設置届	7		4	6	7		8	3	4	5	23	15	82
	消防用設備等点検結果	10	10	31	7	5	11	6	8	16	9	22	14	149
防火管理	防火管理者選（解）任届	8	2	6	4	4	3	2	1	2	4	2	4	42
	防火管理者資格終了証再交付													0
	消防計画作成（変更）届	1		2		1	3	1		2	5	1	2	18
	自衛消防訓練通知	5	16	11	4	5	10	10	11	7	7	8	15	109
火災予防	防火対象物使用開始届	1	1		1	2	1	1	1	1	2	4	2	17
	少量危険物貯蔵取扱い届							1					1	2
	少量危険物廃止届	1				1								2
	電気設備等設置届						1	2		1		1		5
	圧縮アセチレンガス等の届			1		1	2		1	1		1		7
	催物開催届		1											1
	是正改修完了報告書	3	4	9	6	3	2	2	3	2	8	9	5	56
	消防資料届													0
	消防設備等特例適用申請													0
	変更等届	1	3	3	2	4	3	2	1		1	4	3	27
	火災発生届		2	3	2	2	6	5	1	10	2		1	34
	煙火打上げ届	2	2	3	2	2	3		2	1				17
	道路工事届	5	3	2	6	2	10	5	8	6	5	8		60
	水道断・減水届													0
	火を使用する設備等の設置届					2			1					3
	防火対象物点検報告	1								2		2		5
	その他届出	7	5		2	1	3	7	6	4		4	3	42
合 計		53	52	79	49	44	66	59	52	60	55	99	67	735

建築物消防同意状況

(平成27年度中)

年度・件数 項目			23年度 件 数	24年度 件 数	25年度 件 数	26年度 件数	27年度 件数
1項	イ	映画館等					
	ロ	公会堂・集会場			1	1	1
2項	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場等					
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等					
3項	イ	料理店等					
	ロ	飲食店					
4項		店舗・マーケット等	2	5		2	
5項	イ	旅館・ホテル					
	ロ	共同住宅等	4	2	6	1	4
6項	イ	病院・診療所	1	2	2	1	1
	ロ	養護老人ホーム等			1	1	
	ハ	老人デイサービス等	1	2	1		3
	ニ	幼稚園					
7項		学校	2			2	1
8項		図書館等			1	1	
9項	イ	蒸気・熱気浴場					
	ロ	イ以外の公衆浴場		1			
10項		駅舎					
11項		神社・寺院等				3	
12項	イ	工場・作業場				2	
	ロ	映画スタジオ等					
13項	イ	駐車場等	1	2		3	
	ロ	飛行機等の格納庫					
14項		倉庫	6	4		4	3
15項		前項に該当しない事業所	3	11	6	7	6
16項	イ	特定複合用途		1			
	ロ	上記以外の複合用途		1		1	
17項		重要文化財等					
専 用 住 宅			70	110	108	110	98
合 計			90	141	126	139	117

用途地域別建築物消防同意

(平成27年度中)

月 用途地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
合 計	13 (6)	7 (4)	5 (12)	4 (2)	10 (2)	13 (9)	19 (11)	7 (11)	10 (5)	5 (4)	13 (7)	11 (5)	117 (78)
第1種低層 住居専用地域	1 (5)		1 (7)		1 (2)			1 (9)				1 (2)	5 (54)
第1種中高層 住居専用地域	4	5	3	2	4	4	10	2	7	1	3	3	48 0
第1種 住居専用地域	4		1	1	4	8	9	3	3	2	2	5	42 0
第2種 住居専用地域													0 0
近隣商業地域	2			1		1		1		2	8		15 0
準工業地域												2	2 (2)
工業地域													0 (17)
住居地域													
無指定	2	2 (1)			1								5 (5)
市街化調整区域													0

※ 括弧内は通知件数

中高層建築物状況

(単位:棟、平成28年4月1日現在)

防火対象物項目			3 階	4 階	5 階	10 階
1項	イ	映画館等				
	ロ	公会堂・集会場	3			
2項	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等				
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
3項	イ	料理店等				
	ロ	飲食店	2			
4項		店舗・マーケット等				
5項	イ	旅館・ホテル	1	1		1
	ロ	共同住宅等	23	24	6	
6項	イ	病院・診療所			1	
	ロ	養護老人ホーム等	2	1		
	ハ	老人デイサービス等	2			
	ニ	幼稚園				
7項		学校	11	1		
8項		図書館等				
9項	イ	蒸気・熱気浴場				
	ロ	イ以外の公衆浴場				
10項		駅舎				
11項		神社・寺院等	1			
12項	イ	工場・作業場				
	ロ	映画スタジオ等				
13項	イ	駐車場等	1			
	ロ	飛行機等の格納庫				
14項		倉庫				
15項		前各項に該当しない事業所	6	2	1	
16項	イ	特定複合用途	12	2		
	ロ	上記以外の複合用途	2	1	1	
17項		重要文化財等				
合 計			66	32	9	1

危険物関係届出状況

(平成27年度中)

月 別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
危険物保安監督者（選・解任）	1						3					1	5
危険物取扱所休止届													
危険物取扱所廃止届		1										1	2
危険物貯蔵所休止届													
危険物貯蔵所廃止届							2						2
危険物貯蔵所等譲渡引渡届													
危険物品名数量変更届													
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始(廃止)届出書													
危険物取扱所等設置許可													
危険物取扱所等変更許可							2						2
危険物取扱所等完成検査								1		1			2
危険物仮使用承認							2						2
危険物仮貯蔵承認													
危険物タンク検査													
危険物製造所等変更届	2			1		1	3	2	1				10
予防規程制定認可申請													
予防規程変更認可申請							2						2
危険物製造所等軽微な変更届	1					3	1		2		1		8
合 計	4	1		1		4	15	3	3	1	1	2	35

危険物施設状況

(平成28年4月1日現在)

製造所等の別 区分		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計	
			屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	一 般	給 油		販 売		
											営 業	自 家	第 1 種		第 2 種
施 設 数															
類 別	第一類														
	第二類														
	第三類														
	第四類		5	1		20		8		7	4	1		46	
	第五類														
	第六類														
	混 在														
施設数合計			5	1	0	20	0	8	0	7	4	1	0	0	46
届 出 数															
許 可	設置													0	
	変更									1		1		2	
完 成 検 査	設置													0	
	変更									1		1		2	
タンク検査														0	
休 止														0	
廃 止						2				2				4	
仮使用・仮貯蔵 ・仮取扱数										1		1		2	
届出数合計						2				5				7	
査察実施数			5			6				4				15	

指定数量別危険物製造所等の状況

(平成28年4月1日現在)

数量の別 製造所等の別		5 倍 以下	5 倍を 超え 10倍 以下	10倍を 超え 50倍 以下	50倍を 超え 100倍 以下	100倍を 超え 150倍 以下	150倍を 超え 200倍 以下	200倍を 超え 1,000倍 以下	計
製 造 所									0
貯 蔵 所	屋 内	1	2	2					5
	屋外タンク			1					1
	屋内タンク								0
	地下タンク	10	2	7	1				20
	簡易タンク								0
	移動タンク	2	1	5					8
	屋 外								0
小 計		13	5	15	1	0	0	0	34
取 扱 所	給 油					2		3	5
	第 1 種販売								
	第 2 種販売								
	一 般	4	3						7
小 計		4	3	0	0	2	0	3	12
合 計		17	8	15	1	2	0	3	46

地区別危険物施設及び貯蔵・取扱数量

(平成28年4月1日現在)

		製造所	貯 蔵 所						取 扱 所		合 計	危険物の数量
			屋 内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	移動タンク	屋 外	給 油	一 般		第 4 類 (ℓ)
東 部 地 区	高 麗		3			1	8			1	13	138,676
	東 町					1					1	3,500
	長 者 町										0	0
	北 本 町					2					2	7,000
	南 本 町					1					1	3,000
	南 下 町					1				1	2	21,500
	台 町					3				1	4	33,800
	西小磯東			1						1	2	22,260
	西小磯西		1			2					3	33,350
小 計			4	1		11	8			4	28	263,086
西 部 地 区	中 丸					1			1	1	3	175,727
	馬 場										0	0
	国府新宿		1			1			2		4	144,220
	月 京					1			1	2	4	61,232
	生 沢					1					1	3,000
	虫 窪					2					2	6,900
	黒 岩					3			1		4	100,800
小 計			1			9			5	3	18	491,879
合 計			5	1		20	8		5	7	46	754,965

消 防 団

消防団の現勢

(平成28年4月1日現在)

消防団設置年月日	昭和30年6月1日
消防分団数	1本部 12分団
消防団員定数	184人
消防団員数	178人

消防ポンプ自動車	2台	安全帽	178個	投光器	16基
小型動力ポンプ付積載車	10台	防火衣一式	136組	救助ボート	1艇
小型動力ポンプ	2台	ケブラー手袋	64双		
消防団無線 (デジタル簡易無線機)	車載型	3基	救命胴衣	181着	
	携帯型	42基	防塵メガネ	24個	

消防団の現況

(平成28年4月1日現在)

区分 分団別	消防団員数							
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本部	1	3						4
第1分団			1	1	2	3	6	13
第2分団			1	1	2	3	7	14
第3分団			1	1	2	3	8	15
第4分団			1	1	2	3	8	15
第5分団			1	1	2	3	8	15
第6分団			1	1	2	3	8	15
第7分団			1	1	2	3	8	15
第8分団			1	1	2	3	7	14
第9分団			1	1	2	3	8	15
第10分団			1	1	2	3	8	15
第11分団			1	1	2	2	7	13
第12分団			1	1	2	3	8	15
計	1	3	12	12	24	35	91	178

消防団分団別受持区域図



消防団分団別受持区域表

本 ・ 分 団 別	区 域
本 部	全 域
第 1 分 団	高 麗
第 2 分 団	山王町、東町、長者町
第 3 分 団	台町、裡道、南本町、南下町、茶屋町
第 4 分 団	西小磯東、西小磯西
第 5 分 団	国府本郷（中丸、馬場）
第 6 分 団	国府新宿（東海旅客鉄道株式会社東海道新幹線以南の区域に限る。）
第 7 分 団	生 沢
第 8 分 団	寺 坂
第 9 分 団	虫 窪
第 10 分 団	黒 岩、西久保
第 11 分 団	神明町、北本町、北下町
第 12 分 団	月京、石神台、国府新宿（東海旅客鉄道株式会社東海道新幹線以北の区域に限る。）

各分団所在地

(平成28年4月1日現在)

分 団 名	所 在 地	建 築 年 月 日	構 造		延床面積
			主 体	外 壁	
第 1 分団	高麗一丁目7-7	昭和58年12月18日	鉄骨 2 階	A L C	48.97 m ²
第 2 分団	大磯1901-18	平成6年2月24日	鉄骨 2 階	A L C	69.58 m ²
第 3 分団	東小磯143-3	平成7年3月15日	鉄骨 2 階	A L C	82.00 m ²
第 4 分団	西小磯245	平成4年3月31日	R C 2 階	打放し コンクリート	54.68 m ²
第 5 分団	国府本郷757-6	平成4年3月31日	鉄骨 2 階	押出成形 セメント板	74.88 m ²
第 6 分団	国府新宿397-1	平成4年3月31日	R C 2 階	打放し コンクリート	69.77 m ²
第 7 分団	生沢690-3	昭和60年11月28日	鉄骨 2 階	A L C	67.48 m ²
第 8 分団	寺坂656-4	昭和63年3月24日	鉄骨 2 階	A L C	67.48 m ²
第 9 分団	虫窪533-14	昭和61年12月25日	鉄骨、平	A L C	58.93 m ²
第10分団	黒岩45-2	昭和60年3月20日	鉄骨、平	A L C	52.76 m ²
第11分団	大磯992	昭和58年3月25日	R C、平	R C	43.05 m ²
第12分団	月京6-10	平成7年10月17日	鉄骨 2 階	A L C	77.40 m ²

※ R C (鉄筋コンクリート造)

※ A L C (鉄骨軽量気泡コンクリート造)

消防団員階級別年齢

(平成28年4月1日現在)

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計人数
18歳未満								
18歳～20歳								
21歳～25歳							3	3
26歳～30歳							7	7
31歳～35歳						1	27	28
36歳～40歳			2	2	5	10	15	34
41歳～45歳			2	3	6	9	19	39
46歳～50歳			4	3	6	6	10	29
51歳～55歳			2	2	3	4	5	16
56歳～59歳		1			1	2	2	6
60歳以上	1	2	2	2	3	3	3	16
合計人数	1	3	12	12	24	35	91	178
							平均 年齢	44歳

職業別消防団員数

(平成28年4月1日現在)

農 業	林 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	運 輸 ・ 通 信 業	卸 売 ・ 小 売 業 ・ 飲 食 店	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	公 務 員	そ の 他 の 産 業	総 数
6	0	0	38	37	7	11	15	6	0	24	5	29	178

消防団員在職年数

(平成28年4月1日現在)

30年 以上	25年 ～ 29年	20年 ～ 24年	15年 ～ 19年	10年 ～ 14年	5年 ～ 9年	5年 未 満	合 計
4	4	7	20	35	41	67	178

消防団員報酬額

(平成28年4月1日現在)

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年 額	157,900 円	92,900 円	53,400 円	40,400 円	37,900 円	35,500 円	33,000 円

消防団員費用弁償額

(平成28年4月1日現在)

出動区分	水 火 災	警 戒	訓 練
支給額	出 動 1 時 間 に つ き 5 7 0 円		

消防団現有車両機械状況

(平成28年4月1日現在)

分団名	配置機械	ポンプ級	ポンプ会社名	購入年月日	無線局の呼び出し符号
第1分団	消防ポンプ自動車(ニッサン)	A-2	日本機械	H1. 9. 26	おいそだん101, 201, 301
	小型動力ポンプ	B-3	トーハツ	S56. 12. 2	
第2分団	積載車(ニッサン)		畠山ポンプ	H21. 11. 11	おいそだん102, 202, 302
	小型動力ポンプ	B-3	トーハツ	H21. 11. 11	
第3分団	積載車(ニッサン)		畠山ポンプ	H27. 11. 17	おいそだん103, 203, 303
	小型動力ポンプ	B-3	トーハツ	H27. 11. 17	
第4分団	積載車(ニッサン)		畠山ポンプ	H22. 11. 30	おいそだん104, 204, 304
	小型動力ポンプ	B-3	トーハツ	H22. 11. 30	
第5分団	消防ポンプ自動車(ニッサン)	A-2	日本機械	H2. 10. 29	おいそだん105, 205, 305
	小型動力ポンプ	B-3	トーハツ	S55. 8. 6	
第6分団	積載車(ニッサン)		畠山ポンプ	H27. 11. 17	おいそだん106, 206, 306
	小型動力ポンプ	B-3	トーハツ	H27. 11. 17	
第7分団	積載車(ニッサン)		畠山ポンプ	H22. 11. 30	おいそだん107, 207, 307
	小型動力ポンプ	B-3	トーハツ	H22. 11. 30	
第8分団	積載車(ニッサン)		畠山ポンプ	H26. 12. 23	おいそだん108, 208, 308
	小型動力ポンプ	B-3	トーハツ	H26. 12. 23	
第9分団	積載車(いすゞ)		トーハツ	H26. 3. 19	おいそだん109, 209, 309
	小型動力ポンプ	B-2	トーハツ	H26. 3. 19	
第10分団	積載車(ニッサン)		畠山ポンプ	H26. 1. 8	おいそだん110, 210, 310
	小型動力ポンプ	B-3	トーハツ	H26. 1. 8	
第11分団	積載車(ニッサン)		畠山ポンプ	H22. 3. 26	おいそだん111, 211, 311
	小型動力ポンプ	B-3	トーハツ	H22. 3. 26	
第12分団	積載車(ニッサン)		畠山ポンプ	H20. 10. 21	おいそだん112, 212, 312
	小型動力ポンプ	B-3	トーハツ	H20. 10. 21	

※ 各分団にはこの他に発電機、投光器を配備しています。

※ 無線局呼び出し符号「3**」に関しては、H26. 2. 3総務省無償貸付により整備されたもの。

その他 統計

防災訓練実施状況

(平成27年中)

月 日	実施機関名(町内名・団体名)	参加消防団	団員数	参加人数	出向署員数
1 月 31 日	東町自主防災自衛団	なし	0	18	5
2 月 28 日	裡道・茶屋町地区	なし	0	15	4
3 月 15 日	東町自主防災自衛団	2分団	10	58	4
5 月 31 日	北下町自主防災会	11分団	4	45	4
6 月 21 日	国府新宿地区	6分団	7	41	4
6 月 27 日	台町町内会	3分団	2	50	4
9 月 27 日	南下町地区自主防災隊	なし	0	26	4
10 月 11 日	中丸自主防災部会	なし	0	74	4
11 月 1 日	生沢住宅管理組合	無し	0	16	4
11 月 7 日	国府地区・大磯地区区長及び役員	10・4分団	記載なし	100	4
11 月 8 日	北下町自主防災会	11分団	4	30	4
11 月 14 日	西小磯西自主防災会	4分団	8	14	7
12 月 19 日	国府新宿地区	6分団	8	50	4
実施回数13回 参加人数537人					

各講習会実施状況

(平成27年中)

月 日	実施機関名(町内名・団体名)	講習会内容	参加人数	出向署員数
2 月 4 日	放課後子ども教室	心肺蘇生法・AED・ケガ・痙攣対応	15	4
2 月 17 日	こいそ幼稚園	心肺蘇生法・AED・ケガ・痙攣対応	10	4
2 月 18 日	放課後子ども教室	心肺蘇生法・AED	15	4
3 月 19 日	東電タウンプランニング(大磯支社)	心肺蘇生法・AED	35	4
5 月 30 日	慶林寺檀家	心肺蘇生法・熱中症・AED	90	3
6 月 18 日	国府保育園	心肺蘇生法・AED・熱性痙攣・蜂刺され対応	21	2
実施総回数 6 回 参加者総数 186 人				

救命講習会 講習回数及び受講者数

年区分 内容	平成25年		平成26年		平成27年	
	講習回数	受講者数	講習回数	受講者数	講習回数	受講者数
普通救命講習会	49	536	47	565	36	452
救命入門コース ※	3	263	2	169	17	442
合計	52	799	49	734	53	894

講習回数及び受講者総数

内容	講習回数	受講者数
平成17年からの 普通救命講習会	376	4,634
平成25年からの 救命入門コース	22	874
合計	398	5,508

※ 「救命入門コース」 …平成27年7月より新設した、基本的な心肺蘇生法及びAEDの使用方法に重点を置いた90分間のコース。

※ 平成25年、平成26年の「救命入門コース」は小学生を対象としたもの。

参考資料

(平成28年4月1日現在)

	世帯数	人口	人口1万人ごとの 年間発生比率		
東部地区	地区別人口と世帯数については、 平成27年国勢調査集計中のため未掲載。		火災は	救急は	救助は
西部地区			3.5	504.5	4.8
合 計			件	件	件
	12,274 世帯	31,497 人			

年区分		平成25年度			平成26年度			平成27年度		
町内名		火災	救急	救助	火災	救急	救助	火災	救急	救助
合 計		8	1,503	4	7	1,630	16	11	1,589	15
東部地区		2	820	1	3	883	8	7	850	7
西部地区		6	648	1	4	723	5	4	692	4
町内無番地(海岸等)			17	2		8	3		21	4
大磯町外(応援)		4	18			16			26	
東 部 地 区	高麗		134		1	114	1		124	2
	東町		67			77	1		66	
	長者町		77			84	1	3	68	
	山王町	1	85			80	3		70	
	神明町	1	40		1	45			48	1
	北本町		20			23			14	
	北下町		40			54			30	1
	南本町		16			23	1	1	12	
	南下町		25			34		1	37	
	茶屋町		43		1	42	1	1	55	2
	裡道		1			1			3	
	台町		113			124			131	
	西小磯東		122			127		1	145	1
	西小磯西		37	1		55			47	
西 部 地 区	中丸		150			170	2	1	153	1
	馬場	1	109		2	117	2	2	129	
	国府新宿	2	114	1	1	137			137	2
	月京	2	115			123			102	
	生沢		58		1	74	1		62	
	寺坂		12			14			13	
	虫窪	1	36			30			43	1
	黒岩		10			6			9	
	西久保		4			14		1	8	
	石神台		40			38			36	

※ 火災件数は発生件数とするため、大磯町外(応援)の火災出動は合計件数へは計上しません。
 ※ 平成20年度から町外救助応援出動はその他出動としているため、合計件数へは計上しません。
 ※ 出典: 平成27年国勢調査速報値を基準人口とした推計人口

消 防 年 報

平成 28 年 9 月発行

編集・発行 大磯町消防本部

〒255-0003 神奈川県中郡大磯町大磯 1075 番地

TEL 0463 - 61 - 0911

FAX 0463 - 61 - 7412